

## 地域資源を活かした文化芸術の振興

新ビジョン体系	7-2 (1)	担当部局	スポーツ・文化観光部 文化政策課
---------	---------	------	------------------

### ❖ 目 標

県民が文化芸術に触れる機会の提供や、創造活動の充実に向けた環境づくりに取り組みます。

オリンピック・パラリンピックに向けて、文化プログラムを県内各地で着実に展開し、培った仕組みや人材を活かして文化振興を支えるアーツカウンシルの形成につなげ、文化力の向上を図ります。

### ❖ 施策に関する指標

成果指標	基準値	現状値	目標値	区分
1年間に文化・芸術の鑑賞・活動を行った人の割合	(2018年度) 54.9%	(2020年度) 60.5%	75%	C
県内文化施設（概ね300人以上の公立ホール）利用者数	(2016年度) 7,495,456人	(2019年度) 6,647,599人	7,700,000人	基準値以下

活動指標	基準値	現状値	目標値	区分
静岡県文化プログラム認証件数	(2016年度) 0件	(2019年度) 929件	(2020年度) 累計1,000件	
県立美術館来館者数	(2016年度) 239,984人	(2019年度) 181,265人	毎年度240,000人	
S P A C公演等鑑賞者数	(2016年度) 35,316人	(2019年度) 43,251人	毎年度45,000人	
ふじのくに芸術祭参加応募人数	(2016年度) 10,484人	(2019年度) 12,810人	毎年度12,800人	
伊豆文学賞応募者数	(2016年度) 410人	(2019年度) 267人	毎年度450人	

### ❖ 施策推進の視点・主な取組

#### 視点1 新たな価値を生み出す

世界も視野に入れた文化芸術を創造・発信する活動の推進

地域の文化資源を活用した世界にも通用する文化芸術を創造し、本県の魅力を高めるとともに、地域への誇りや愛着を育てます。

#### 視点2 豊かな感性を育む

県民が文化芸術に触れる機会の拡充


子どもから大人まで様々な県民に対して文化芸術の鑑賞や体験機会を提供し、県民の心の豊かさや創造性を育みます。

 **視点3** 東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機とした文化芸術創造活動の推進

オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの推進

---

文化芸術団体等によるプログラムを県内各地で展開するとともに、社会の幅広い分野の担い手による文化芸術の力を活用したプログラムを支援します。

 **視点4** これからの文化振興

文化を支える仕組みの構築とネットワークの創出

---

地域住民が主体の文化芸術の創造活動を促進するための仕組みづくりを進めます。

## 1 現状・課題と県の施策

## 【現状・課題1】

- 文化芸術は、心を豊かにし、創造性を育むなど、人が生きていく上で欠かすことのできないものです。本県には、富士山等の美しい自然景観や、伝統芸能、国内外で高い評価を得ている（公財）静岡県舞台芸術センター（SPAC）等、国内外に誇るこことができる様々な文化資源があります。こうした文化資源を再認識し、又は掘り起こしを行い創造活動と結びつけることで、地域の魅力を高めるだけでなく、そこに住む住民の誇りや愛着にもつながります。こうしたことから、文化芸術の創造活動を実現するための環境を整備することは極めて重要です。
- 文化芸術の創造活動に取り組む割合は、全国、本県ともに約2割です。文化活動の裾野を広げるため、今後も、県民の創造活動を促進することが必要です。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの文化芸術活動が停止を余儀なくされ、文化芸術活動で生計を立てている方々を直撃しています。文化芸術に携わる方々が、一日も早く活動を再開し、魅力ある文化芸術の創造に専念できるよう、支援が必要です。



## 視点1 新たな価値を生み出す

社会に新しい価値をもたらす芸術家等による文化芸術の創造活動を実現するための環境整備や、地域の文化資源を守り、人々の関心を高める取組等を実施しています。

主な取組➡ 世界も視野に入れた文化芸術を創造・発信する活動の推進 P.10

## 1 文化に期待するもの

【項目】	（％）			
	平成21年度	平成24年度	平成27年度	平成30年度
心の豊かさ	79.9	76.2	77.6	75.7
創造性	48.9	48.4	53.7	50.1
自己表現	34.1	33.5	32.6	34.0
相互理解	47.4	44.8	46.8	43.8
社会的包摂	-	-	28.5	31.2
地域・社会の課題への対応	-	-	-	24.0
医療・福祉	29.8	25.9	29.5	29.6
観光産業	34.6	39.9	36.9	38.2
新産業創出	16.2	19.6	20.3	17.8
まちづくり	49.2	48.9	44.1	45.1
その他	1.2	0.8	1.1	1.4
特に期待しない	2.5	4.1	4.3	4.2
無回答	2.2	1.1	2.7	2.8

（出典：H30文化に関する意識調査：静岡県）

## 7-2 地域資源を活かした文化芸術の振興

### 2 地域の誇りだと感じられる文化資源

回答者の57.4%が「ある」と回答し、誇りと感じられる文化資源として、以下をあげている。

伝統的な芸能、祭り	歴史的な建造物、遺跡、文化財	珍しい景観・風景	地域の生活様式	独特の文化や風習	アーティスト、工芸作家
50.0%	46.3%	33.0%	15.9%	15.7%	5.5%

複数回答

(出典：H30 文化に関する意識調査(静岡県))

### 3 文化芸術創造活動の実施割合

本県	全国
19.9%	21.7%

(出典：H30 文化に関する意識調査(静岡県)、R1 文化に関する世論調査(文化庁))

### 4 新型コロナウイルス感染症の文化芸術活動への影響

概ね300席以上のホールを有する県内公立文化施設(全57施設)に照会し、46施設から回答有り

<本年3月から5月の期間で中止、延期した事業の件数>

	総事業数(A)	中止(B)	延期(C)	B+C	(B+C)/A
公立文化施設自主事業	198件	152件	31件	183件	92.4%
貸館事業	980件	781件	65件	846件	86.3%
計	1,178件	933件	96件	1,029件	87.4%

(出典：R2.6 静岡県文化政策課調査)

## 【現状・課題2】

- 県民の78.1%がテレビやDVD等のメディアを通じ、また、63.3%がホールや劇場等で文化芸術を鑑賞しています。新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの文化イベントが中止・延期を余儀なくされていますが、今後は、「新しい生活様式」を踏まえながら、様々な手段を通じて、鑑賞機会を提供していく必要があります。
- 豊かな感性や創造性を育むため、感性豊かな時期である子ども達に対し文化芸術と出会う機会の提供及びその充実を図る必要があります。



### 視点2 豊かな感性を育む

様々な属性をもつ人々に、多様な文化を享受する機会を保障する事業を実施しています。特に、将来を担う子どもや若者に対し、体験を通して文化芸術を身近に感じることができる機会を提供しています。

主な取組➡ 県民が文化芸術に触れる機会の拡充 P.12

## 1 文化芸術の鑑賞機会

昨年1年間に、メディア（テレビ、インターネット、DVD、電子・紙媒体書籍等）による鑑賞をした方の割合	78.1%
昨年1年間に、ホール、劇場、映画館、美術館・博物館等の会場での直接鑑賞した方の割合	63.3%

(出典：H30 文化に関する意識調査（静岡県）)

## 2 文化芸術振興のために県へ期待すること（上位5項目）

子どもや若者が文化・芸術と出会う機会を提供	県民が文化・芸術の鑑賞や活動を楽しめるような機会を提供	県民の文化・芸術活動に対して、補助金を出して支援	地域で文化・芸術を支える人材を育てるため、県民に向けた講座を開催	文化・芸術を支援する人と、支援を必要とする人とをつなげる仲立ち
63.6%	54.8%	35.3%	28.1%	28.0%

複数回答

(出典：H30 文化に関する意識調査（静岡県）)

## 【現状・課題3】

- 静岡県文化プログラムは、「東京2020オリンピック・パラリンピックを文化の祭典として盛り上げること」、「2020年以降も文化芸術振興を図る環境を整えること」の2つをねらいとし、ラグビーW杯が開催された2019年度から本格的に展開しています。
- 2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、プログラムの縮小・延期・中止を余儀なくされており、来年に延期して開催する東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、「新しい生活様式」に対応したプログラムに再編成して進めていく必要があります。

**視点3 東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした文化芸術創造活動の推進**

「地域とアートが共鳴する」をテーマに、県内各地で地域住民も主体的に参画し、様々な文化プログラムを展開しています。

主な取組➡ オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの推進 P.14

## 7-2 地域資源を活かした文化芸術の振興

### 1 文化プログラム

オリンピック憲章には、「オリンピズムは、スポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探求するもの」と謳われ、開催都市が「文化プログラム」を開催するように定められています。2012年のロンドンオリンピック・パラリンピックでは、開催都市ロンドンだけでなく、イギリス全土で約11万7000件の文化プログラムが行われ、大きな成果を上げたと言われており、東京大会においても、日本全国で「文化プログラム」が実施されることになっております。

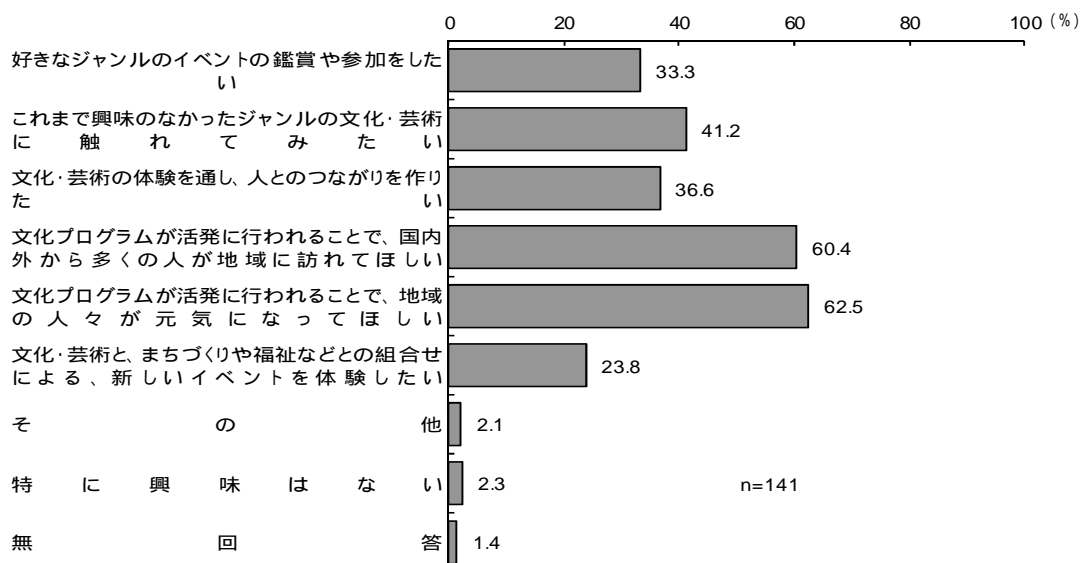
本県では、県内の様々な文化資源を生かしたプログラムが各地で展開されるよう地域の取組を促進するとともに、「文化プログラム」をオリンピック・パラリンピック以降の本県の芸術・文化振興に活用可能な仕組みづくりや文化芸術を担う人材育成の契機として捉え、2016年に「静岡県文化プログラム推進委員会」を立ち上げ文化プログラムの推進に取り組んでいます。

### 2 機運の醸成

#### (1) 文化プログラムウェブサイト・アクセス件数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (6月末現在)
アクセス件数	12,118件	17,067件	39,574件	4,717件
累計	12,118件	29,185件	68,759件	73,476件

#### (2) オリンピック・パラリンピック文化プログラムへの期待



### 3 静岡県文化プログラム認証件数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (6月末現在)
全国的・県域プログラム	0件	187件	396件	9件
地域密着プログラム	23件	131件	192件	55件
計	23件	318件	588件	64件
累計	23件	341件	929件	993件

全国的プログラム...東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と共催で実施するプログラム  
 県域プログラム...推進委員会が企画し、県内全域で実績を積み重ねている団体等が実施するプログラム等  
 地域密着プログラム...県民が担い手となり実施するプログラム等

## 【現状・課題4】

- 東日本大震災の復興の過程においては、文化がコミュニティ再生等に大きな役割を果たすなど、近年、社会の様々な分野における文化の持つ価値の活用について、大きく注目が集まっています。文化の力を活かすためには、まちづくりや産業振興など多様な分野との連携を促進することが必要です。
- 人々が自由に文化に親しみ創作活動を行う地域、また、文化創造の主軸となるアーティスト等が安定的かつ継続的に県内で活躍する地域となるためには文化を支える仕組みが必要です。



## 視点4 これからの文化振興

文化プログラムで培ったノウハウを活かし、地域主体の文化芸術の創造活動を支援する仕組みづくりを進めています。

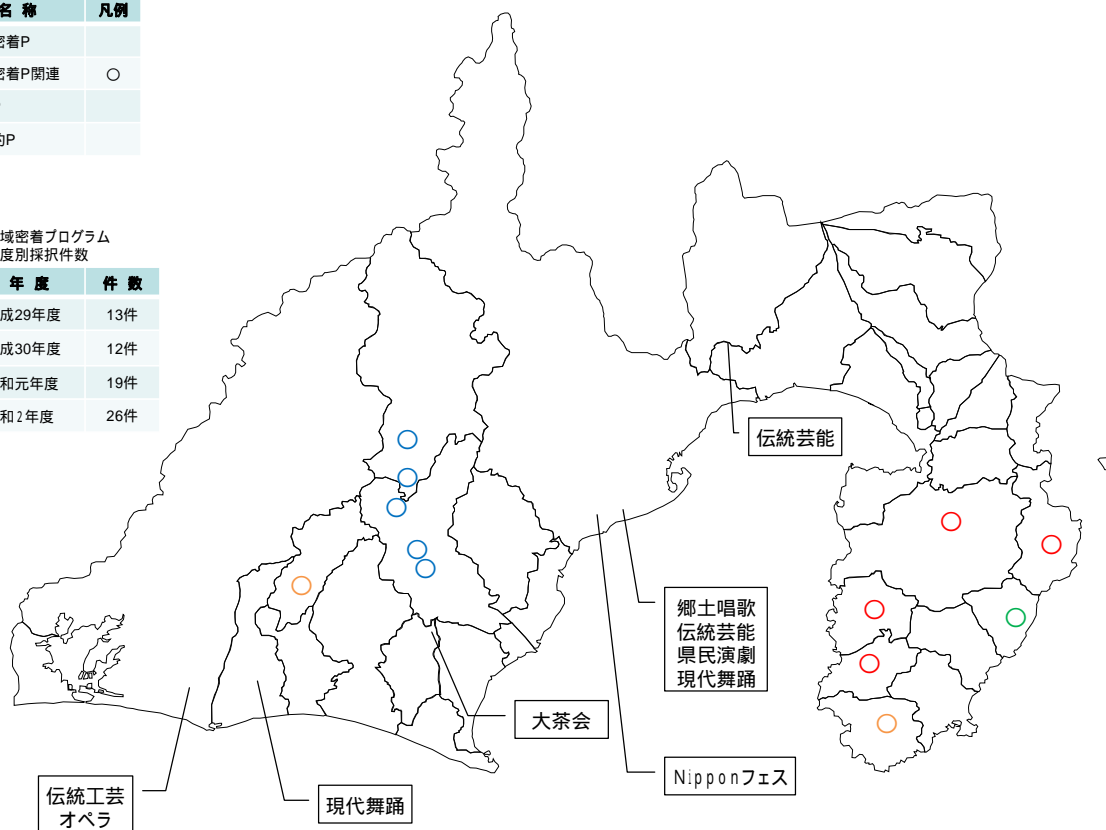
主な取組➡ 文化を支える仕組みの構築とネットワークの創出 P.15

## 1 地域密着プログラムの実施団体の分布

名称	凡例
地域密着P	
地域密着P関連	○
県域P	
全国的P	

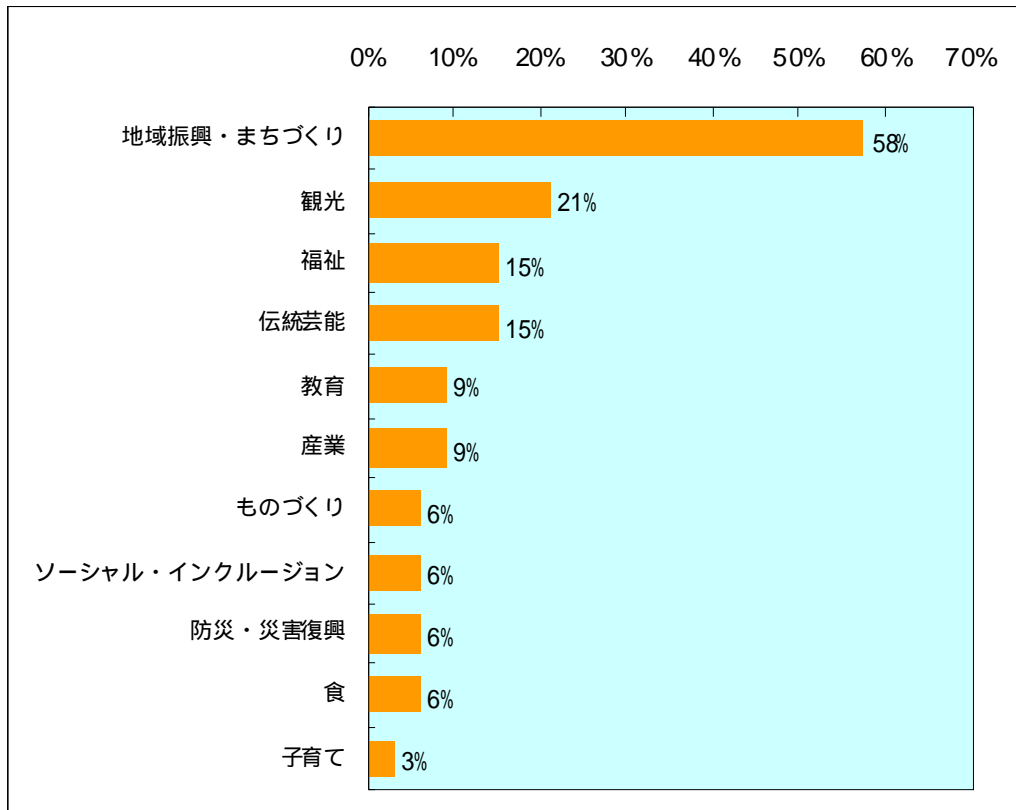
地域密着プログラム  
年度別採択件数

年度	件数
平成29年度	13件
平成30年度	12件
令和元年度	19件
令和2年度	26件



2 地域密着プログラムの内訳

平成 29 年度以降に採択した 33 団体が対応を試みている地域・社会課題（複数計上あり）



3 全国の地域アーツカウンシル設置状況（アーツカウンシルネットワーク会員団体）

都府県・市	アーツカウンシル
東京都	アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
神奈川県	公益財団法人神奈川県芸術文化財団
静岡県	静岡県文化プログラム推進委員会
京都府	京都府文化スポーツ部文化芸術課
大阪府・大阪市	大阪アーツカウンシル
岡山県	おかやま文化芸術アソシエイツ（公益社団法人岡山県文化連盟）
高知県	公益財団法人高知県文化財団
大分県	アーツ・コンソーシアム大分（公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団）
宮崎県	アーツカウンシルみやざき（公益財団法人宮崎県芸術文化協会）
沖縄県	沖縄アーツカウンシル（公益財団法人沖縄県文化振興会）
前橋市	アーツカウンシル前橋（前橋市文化国際課）
川崎市	公益財団法人川崎市文化財団
横浜市	アーツコミッション・ヨコハマ（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）
新潟市	アーツカウンシル新潟（公益財団法人新潟市芸術文化振興財団）
浜松市	浜松アーツ&クリエイション（公益財団法人浜松市文化振興財団）

アーツカウンシル・・・高い専門性を持つスタッフが、芸術文化の振興を目的に、各種芸術文化事業への助成を中心とした支援を行う独立機関（全国公立文化施設協会ホームページより）



## 2 施策に関する県と市町、民間等との役割分担

区分	役割・取組等
県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本県全体の文化力の向上を図るため、文化振興基本計画に基づく取組を実施</li> <li>・ 居住地域に関わらず優れた文化に触れる機会を確保するため、広域的な施策の取組や自治体間の連携を促進</li> <li>・ 文化の力を観光やまちづくりなど、様々な分野に活用するための関連政策分野との連携の促進</li> <li>・ 国内外に向けて発信できる世界的に評価される事業の推進</li> </ul>
市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民と直接関わる自治体として、地域に必要な文化振興政策を主体的に実施</li> <li>・ 文化施設の運営の充実及び様々な分野の課題に対する文化的手法による対応の実施</li> </ul>
県民等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化関係の団体は、団体の目的及び実情に応じた主体的な文化活動等に取り組む</li> <li>・ 県民は、プロ、アマを問わず、様々な機会を通じて文化芸術を享受し、創造し、また、文化を支える取組を尊重、実践</li> </ul>
企業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業の理念や業種の特徴等を生かし、文化団体、アーティスト、文化施設等への直接的又は間接的な支援を実施</li> <li>・ 本業にアーティスト等の力を活用し、新たな価値の創出や製品等の高付加価値化を推進</li> </ul>

## 3 主な取組

## 視点1 新たな価値を生み出す

取組	世界も視野に入れた文化芸術を創造・発信する活動の推進	担当課名	スポーツ・文化観光部 文化政策課
目的 (何のために)	地域の文化資源を活用した世界に通用する文化芸術を創造し、本県の魅力を高めるとともに、地域への誇りや愛着を育てます。		
取組内容（手段、手法など）	<b>取組1：SPAC の世界的な活動</b> （P17 参考資料） 音楽や絵画、建築、舞踏など、様々な要素で構成される総合芸術としての舞台芸術を振興するため、平成7年にSPAC - 静岡県舞台芸術センターを設立。県内での公演にとどまらず、国内外から招聘を受け、世界各地で公演を実施。 毎年ゴールデンウィークには、世界の演劇界をリードする演劇作品が静岡に集結する「ふじのくにせかい演劇祭」を開催し、国際色豊かな舞台の競演と世界各国との文化交流を促進。 <R 元実績 >		
	県内公演	『ふたりの女』等、全 89 公演（鑑賞者数 20,997 人） 中高生鑑賞事業の内数 45 公演（鑑賞者数 10,232 人）	
	県外公演	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『天守物語』（第9回シアター・オリムピクス公演）（富山）（鑑賞者数 608 人）</li> <li>・『マハーバーラタ』（東アジア文化都市 2019 豊島）（東京）（鑑賞者数 884 人）</li> </ul>	
	海外公演	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パリ公演『イナバとナバホの白兔』（ケ・ブランリー美術館招聘公演）（観客数 1,407 人）</li> <li>・ニューヨーク公演『アンティゴネ』（Japan2019 公式企画）（観客数 10,112 人）</li> </ul>	
			
	『ふたりの女』 ◦ 猪熊康夫	『アンティゴネ』 ◦ Stephanie Berger / Park Avenue Armory	
	<b>取組2：国際的なコンクールの開催</b> （P18,19 参考資料） 静岡国際オペラコンクール 本県ゆかりのプリマドンナ三浦環をたたえ、没後 50 年の 1996 年から 3 年毎に開催。国際音楽コンクール世界連盟に声楽分野で加盟する日本で唯一のコンクール。若手声楽家の発掘・応援と、コンクール鑑賞やオペラ県民講座等を実施。		
	主催	県、県教育委員会、浜松市、静岡文化芸術大学、静岡国際オペラコンクール実行委員会	
	コンクール開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第8回（2017年度）実績</li> <li>参加者：世界 22 か国 191 名</li> </ul>	
	オペラ県民講座	コンクール未開催年に、過去の入賞者を招聘し、県民向けのオペラ講座（歌唱付き）を県内 3 地域で開催	
	高校生鑑賞教室事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内オペラ団体を高校へ派遣</li> <li>・コンクール開催年はコンクール会場に招待</li> </ul>	

## 伊豆文学フェスティバル

文学の地として名高い伊豆地域をはじめ、本県の多彩な地域文化を反映した文学作品を全国から募集し、優秀作品を発表することで、文学界の人材発掘と本県文化資源の情報発信を推進。

主催	県、県教育委員会、伊豆文学フェスティバル実行委員会
伊豆文学賞	・小説・随筆・紀行文部門と、短編部門を募集 R1 応募総数：267 件
伊豆文学フェスティバル	・伊豆文学塾：表彰式、審査員（作家）による講演 ・伊豆文学ツアー：文学ゆかりの地を巡るツアーを実施
受賞者の活躍	・今村翔吾氏（第 19 回最優秀賞） ・土橋章宏氏（第 13 回最優秀賞）

## 取組 3：県全域を対象とした多彩な芸術祭の開催（P20～22 参考資料）

## ふじのくに芸術祭

美術、文学、音楽、舞台芸術等、広く県民に芸術作品の発表や鑑賞をする機会を提供し、県民が自ら行う文化活動を支える取組を実施。2020 年度で第 60 回を迎える。

主催	県、県教育委員会、静岡県文化協会
内容	・コンクール、発表の場の提供事業 4 部門（美術部門、文学部門、音楽・舞台芸術部門、生活文化部門） ・総合開会式、学生アートフェスティバル等の芸術普及事業
R1 実績	・応募出演数 12,810 人 ・鑑賞者数 12,202 人

## 障害者文化芸術の振興

障害のある人の文化芸術活動の振興を通じて、障害のある人の社会参加と県民理解を推進するため、障害者芸術祭の開催、支援拠点の設置、障害者の芸術作品の有償レンタル等の取組を実施。

区分	内容
発表の場の創出	・県障害者芸術祭の開催 シンボルイベント(舞台発表)、作品展(美術発表)
まちじゅうアート (R1.11～)	・企業等へ障害者の芸術作品を有償レンタル ・レンタル料の一部を作家に還元
県庁障害者アート空間化 (R1.11～)	・障害者の芸術作品を有償で借り受け県庁内に展示
障害者芸術活動の支援拠点 の設置	支援コーディネーターの配置、相談窓口、障害者芸術家の発掘、人材育成、ワークショップ、協力隊の設置

## 取組 4：伝統芸能の振興（P23,24 参考資料）

## 県及び文化財団における取組

県、静岡市、（一財）地域伝統芸能活用センター3 者の共催で、全国各地の地域に伝わるお祭りを一堂に集め、舞台上で披露する「地域伝統芸能全国大会」を本年 11 月に開催。また、県文化財団は、文化プログラムの一環として「ふじのくに伝統芸能フェスティバル」を開催しているほか、伝統芸能の継承を事業の柱の一つとして、県内各地で様々な鑑賞事業やワークショップ等を開催。

## 取組 5：新型コロナウイルス感染症下での取組（P25 参考資料）

## ふじのくに # エールアートプロジェクトの実施

県内アーティスト等の文化芸術活動の再開を支援する相談窓口の設置、「新しい生活様式」に対応した文化芸術活動への助成を実施。

7-2 地域資源を活かした文化芸術の振興

視点2 豊かな感性を育む

取組	県民が文化芸術に触れる機会の拡充	担当課名	スポーツ・文化観光部 文化政策課																									
目的 (何のために)	子どもから大人まで様々な県民に対して文化芸術の鑑賞や体験機会を提供し、県民の心の豊かさや創造性を育みます。																											
取組内容(手段、手法など)	<p><b>取組1：県有施設における様々な取組</b> (P.26～28 参考資料)</p> <p>県立美術館では毎年5本程度、ふじのくに地球環境史ミュージアムでは3本程度企画展を開催するほか、館外展示(移動美術展、ミュージアムキャラバン、ミニ博物館)や、子どもから大人まで様々な年齢層を対象とした教育普及事業を館内外で実施</p> <p>県立の文化施設グランシップでは、ホール、ギャラリー、会議室等の貸館業務のほか、県民参加型、ワークショップ、館外での公演など、様々な手法の企画事業を毎年60本程度実施。</p> <p>&lt;R1実績&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立美術館</td> <td>常設展・企画展：5本(観覧者数109,824人) 教育普及事業：講義系5種、体験系11種、学校連携(参加者数28,147人) 移動美術展：1回 裾野市(観覧者数2,183人)</td> </tr> <tr> <td>地球環境史ミュージアム</td> <td>常設展・企画展：4本(観覧者数78,118人) 教育普及：館内講座・イベント434回(参加者数23,737人) ミュージアムキャラバン43箇所、ミニ博物館16箇所開催(観覧者数643,598人)</td> </tr> <tr> <td>グランシップ</td> <td>施設稼働率：78.2% 企画事業：62本(音楽25本、伝統芸能18本、文芸・美術振興11本、親子向け6本、入場参加者数122,851人) 子ども学生鑑賞者数(7,252人)</td> </tr> </tbody> </table>				施設名	実績	県立美術館	常設展・企画展：5本(観覧者数109,824人) 教育普及事業：講義系5種、体験系11種、学校連携(参加者数28,147人) 移動美術展：1回 裾野市(観覧者数2,183人)	地球環境史ミュージアム	常設展・企画展：4本(観覧者数78,118人) 教育普及：館内講座・イベント434回(参加者数23,737人) ミュージアムキャラバン43箇所、ミニ博物館16箇所開催(観覧者数643,598人)	グランシップ	施設稼働率：78.2% 企画事業：62本(音楽25本、伝統芸能18本、文芸・美術振興11本、親子向け6本、入場参加者数122,851人) 子ども学生鑑賞者数(7,252人)																
	施設名	実績																										
	県立美術館	常設展・企画展：5本(観覧者数109,824人) 教育普及事業：講義系5種、体験系11種、学校連携(参加者数28,147人) 移動美術展：1回 裾野市(観覧者数2,183人)																										
	地球環境史ミュージアム	常設展・企画展：4本(観覧者数78,118人) 教育普及：館内講座・イベント434回(参加者数23,737人) ミュージアムキャラバン43箇所、ミニ博物館16箇所開催(観覧者数643,598人)																										
	グランシップ	施設稼働率：78.2% 企画事業：62本(音楽25本、伝統芸能18本、文芸・美術振興11本、親子向け6本、入場参加者数122,851人) 子ども学生鑑賞者数(7,252人)																										
	<p><b>取組2：子どもが文化と出会う機会の創出</b> (P.29～33 参考資料)</p> <p>ふじのくに子ども芸術大学</p> <p>第一線で活躍するアーティスト等との交流を通じ、優れた文化芸術に出会い身近に親しむ機会を提供するため、県内の小・中学生を対象とした個人参加の体験・創造講座を実施。</p> <p>平成23年に事業を開始し、これまでに5,205人が受講。</p> <p>&lt;ふじのくに子ども芸術大学&gt;R1実績 7/27(沼津会場)は台風のため開催中止</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>日程</th> <th>分野等</th> <th>講座数</th> <th>参加者数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別講座</td> <td>7/27 8/10、8/17</td> <td>指揮、ピアノ、現代アート、デザイン、製菓等</td> <td>17 (11)</td> <td>360人</td> <td>沼津市、浜松市、静岡市</td> </tr> <tr> <td>公募型講座</td> <td>7～ 11月</td> <td>演劇、美術、工芸、舞踊、伝統芸能等の各分野</td> <td>15</td> <td>485人</td> <td>県内各地</td> </tr> <tr> <td colspan="3">計</td> <td>32(26)</td> <td>845人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				区分	日程	分野等	講座数	参加者数	備考	特別講座	7/27 8/10、8/17	指揮、ピアノ、現代アート、デザイン、製菓等	17 (11)	360人	沼津市、浜松市、静岡市	公募型講座	7～ 11月	演劇、美術、工芸、舞踊、伝統芸能等の各分野	15	485人	県内各地	計			32(26)	845人	
	区分	日程	分野等	講座数	参加者数	備考																						
	特別講座	7/27 8/10、8/17	指揮、ピアノ、現代アート、デザイン、製菓等	17 (11)	360人	沼津市、浜松市、静岡市																						
	公募型講座	7～ 11月	演劇、美術、工芸、舞踊、伝統芸能等の各分野	15	485人	県内各地																						
	計			32(26)	845人																							
<p>子どもが文化と出会う機会の創出</p> <p>中高生が質の高い芸術を本格的なホールで鑑賞する機会を提供する中高生鑑賞事業等を文化財団及びSPACで実施し、これまでに242,783人が鑑賞。</p> <p>&lt;こどもたちの文化芸術鑑賞推進事業(県文化財団)・中高生鑑賞事業(SPAC)&gt;R1実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>演目</th> <th>公演数</th> <th>鑑賞者数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年1月</td> <td>静岡交響楽団によるオーケストラ、県立美術館作品鑑賞</td> <td>2日間 4コース</td> <td>1,352人 (14校)</td> <td>開始年度：H15 延鑑賞者数：72,675人</td> </tr> <tr> <td>令和元年6月 ～令和2年3月</td> <td>『イナバとナバホの白兔』ほか5演目</td> <td>45回</td> <td>10,232人 (76校)</td> <td>開始年度：H21 延鑑賞者：170,108人</td> </tr> </tbody> </table>				実施日	演目	公演数	鑑賞者数	備考	令和2年1月	静岡交響楽団によるオーケストラ、県立美術館作品鑑賞	2日間 4コース	1,352人 (14校)	開始年度：H15 延鑑賞者数：72,675人	令和元年6月 ～令和2年3月	『イナバとナバホの白兔』ほか5演目	45回	10,232人 (76校)	開始年度：H21 延鑑賞者：170,108人										
実施日	演目	公演数	鑑賞者数	備考																								
令和2年1月	静岡交響楽団によるオーケストラ、県立美術館作品鑑賞	2日間 4コース	1,352人 (14校)	開始年度：H15 延鑑賞者数：72,675人																								
令和元年6月 ～令和2年3月	『イナバとナバホの白兔』ほか5演目	45回	10,232人 (76校)	開始年度：H21 延鑑賞者：170,108人																								

また、ホールへ訪れることが難しい遠隔地においても本物の文化芸術を鑑賞、体験できるよう、県内が拠点のプロオーケストラ及び SPAC が学校等を訪問する事業を令和元年度に開始。  
 <子どもが文化と出会う機会創出事業> R1 実績

実施主体		実施内容	回数	鑑賞者数
音楽	静岡交響楽団	地域訪問プログラム	40	11,941
	浜松フィルハーモニー管弦楽団 シンフォニエッタ静岡	未就学児対象コンサート	10	3,660
演劇	SPAC	学校訪問プログラム	25	2,137
		地域のホールにおける出張公演	8	1,951
計			83	19,689

取組3：新型コロナウイルス感染症下での取組 (P34 参考資料)

新型コロナ感染症拡大前と同様の文化芸術活動を実施するのが困難な現状において、オンラインの活用等、「新しい生活様式」に対応した活動を実施し、鑑賞・体験機会を提供。

県	ふじのくにネットチャンネル (14ch 文化・アートチャンネル 15ch 音楽チャンネル)	県内で活動のプロオーケストラの演奏等を配信 配信本数：28本
	ふじのくに # エールアートプロジェクト	県内アーティスト等の文化芸術活動の再開を支援する相談窓口の設置、「新しい生活様式」に対応した文化芸術活動への助成 (R2.6 補正 6,000 万円)
SPAC	くものうえ↑↓せかい演劇祭	ふじのくに せかい演劇祭の代替えとして、オンライン上で演劇祭を実施 期間：令和2年4月25日～5月6日 視聴回数：56,088回
	でんわ de 名作劇場	自宅にしながら、SPAC 俳優のライブの朗読を、電話を介して楽しむ企画
	教科書朗読動画	小中高の国語の教科書の文章を SPAC の俳優が朗読し、YouTube の公式チャンネルに掲載
	SPAC 出張ラヂヲ局 ～電波で演劇とどけます！	FM トランスミッターを持って福祉施設等を訪問し、名作の朗読・トーク・楽器の演奏などを外から FM 波にのせて送信。建物内で、ラジオ等で受信
	SPAC アートおとどけ工房 ～身近な素材できみもアーティスト！	家庭内にある廃材などを利用し、立体アートや絵画に仕上げ、学校等へお届け ほか

取組内容(手段、手法など)

視点3 東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした文化芸術創造活動の推進

取組	オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの推進	担当課名	スポーツ・文化観光部 文化政策課
目的 (何のために)	スポーツの祭典であると同時に文化の祭典でもあるオリンピック・パラリンピックに向けて、県内各地で様々な文化事業を推進します。		

取組内容(手段、手法など)

取組1：文化プログラムの推進 (P35～37 参考資料)

静岡県文化プログラムは、「全国的プログラム」、「県域プログラム」、「地域密着プログラム」の三つのカテゴリーに区分して取り組むとともに、認証制度を活用して、多彩なプログラムを県内各地域で展開。

区分	概要						
認定 制 度 の 活 用	<table border="1"> <tr> <td>全国的プログラム</td> <td>東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と共催で実施する「東京2020 NIPPON フェスティバル」の一環として、「ふじのくに野外芸術フェスタ2020 静岡 宮城聡演出 SPAC 公演「アンティゴネ」」を上演 令和2年度は中止し、令和3年度の実施に向け調整</td> </tr> <tr> <td>県域プログラム</td> <td>推進委員会が企画し、県内全域で実績を積み重ねている団体等が実施するプログラム(舞踊、大茶会、伝統芸能等) 県文化施設等での企画・展示、イベント等 令和2年秋から3年夏にかけての実施に向け延期</td> </tr> <tr> <td>地域密着プログラム</td> <td>県民が担い手となり実施する公募プログラムで推進委員会(プログラム・コーディネーター)が支援するもの 市町や地域の文化団体が開催する展覧会やコンサート、演劇公演等 一部内容変更、延期又は中止</td> </tr> </table>	全国的プログラム	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と共催で実施する「東京2020 NIPPON フェスティバル」の一環として、「ふじのくに野外芸術フェスタ2020 静岡 宮城聡演出 SPAC 公演「アンティゴネ」」を上演 令和2年度は中止し、令和3年度の実施に向け調整	県域プログラム	推進委員会が企画し、県内全域で実績を積み重ねている団体等が実施するプログラム(舞踊、大茶会、伝統芸能等) 県文化施設等での企画・展示、イベント等 令和2年秋から3年夏にかけての実施に向け延期	地域密着プログラム	県民が担い手となり実施する公募プログラムで推進委員会(プログラム・コーディネーター)が支援するもの 市町や地域の文化団体が開催する展覧会やコンサート、演劇公演等 一部内容変更、延期又は中止
全国的プログラム	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と共催で実施する「東京2020 NIPPON フェスティバル」の一環として、「ふじのくに野外芸術フェスタ2020 静岡 宮城聡演出 SPAC 公演「アンティゴネ」」を上演 令和2年度は中止し、令和3年度の実施に向け調整						
県域プログラム	推進委員会が企画し、県内全域で実績を積み重ねている団体等が実施するプログラム(舞踊、大茶会、伝統芸能等) 県文化施設等での企画・展示、イベント等 令和2年秋から3年夏にかけての実施に向け延期						
地域密着プログラム	県民が担い手となり実施する公募プログラムで推進委員会(プログラム・コーディネーター)が支援するもの 市町や地域の文化団体が開催する展覧会やコンサート、演劇公演等 一部内容変更、延期又は中止						

文化プログラムの最新の情報は、ホームページ (<https://shizuoka-ac.org>) のイベントカレンダーで紹介



視点4 これからの文化振興

取組	文化を支える仕組みの構築とネットワークの創出	担当課名	スポーツ・文化観光部 文化政策課
目的 (何のために)	地域住民が主体の文化芸術の創造活動を促進するための仕組みづくりを進めます。		
取組内容(手段、手法など)	取組1：アーツカウンシルの設立に向けた準備 (P38~41 参考資料)		
	<p>地域密着プログラムの支援実績を活かし、まちづくり、福祉、教育、観光、産業など、社会の様々な分野の担い手による文化・芸術の力を活用した取組を活性化するため、静岡県文化財団の一部門として、令和3年1月に静岡県版アーツカウンシルを設置予定。</p> <p>&lt;地域密着プログラムの支援状況&gt;</p> <p>文化芸術分野の専門家である5人のプログラム・コーディネーターが、「地域とアート」を繋ぐという視点で、事業目的の明確化、地域住民等との連携、資金調達の工夫、組織体制の強化等について助言を行うなど、伴走型の支援を実施している。</p> <p>○事例：地域芸術祭</p> <p>アーティストが地域に滞在し、住民の協力を得ながら地域の資源や課題を掘り起こし、里山等の自然・古民家・空きビル・廃校等を舞台に作品を制作・発表するアート・プロジェクト</p> <p>例：無人駅の芸術祭/大井川(島田市、川根本町) 原泉アートプロジェクト(掛川市) 富士の山ビエンナーレ(富士市、富士宮市、静岡市) など</p>		
	支援のイメージ(地域芸術祭の例)		
	<p style="text-align: center;"><b>事業の流れ</b></p> <p>【開催準備】 本番1年以上前～ ・地域資源や地域課題に対応した芸術祭のコンセプト、テーマの決定 ・参加アーティストの選定・現地案内 ・地元住民や連携先企業等との調整 ・許認可(河川・海岸等)の取得 ・チラシ、ホームページ等の広報展開 ・ボランティアの募集等 など</p> <p>【作品制作】 数週間～ 参加アーティストによる滞在制作等 (住民の協力、地域資源の調査・表現)</p> <p>【地域芸術祭 開催】 数週間～1ヶ月 各地での展示、関連イベントなどの実施 (ツアー、ワークショップ、交流会等)</p> <p>【振り返り】 成果、課題と改善策、次回の計画</p>		<p style="text-align: center;"><b>コーディネーターによる支援等</b></p> <p>運営会議等へ参加し、計画づくりから事業の進捗に応じ、随時支援 &lt;支援の例&gt; ・地域事情と団体の課題に対応した運営方針の提案と具現化 ・事業目的の整理と事業理念の明確化 ・団体とアーティスト等の意思疎通の円滑化 ・全国の先進事例等の紹介 など</p> <p>進捗状況の確認、関係者のヒアリング等</p> <p>団体の振り返りを支援 &lt;主な観点&gt; ・地域にどんな変化をもたらしたか ・地域住民など多様な人々に関わってもらえたか ・地域資源の発掘、地域の魅力発信や課題の顕在化等に貢献できたか ・アーティストが地域や地域住民から得た効用・効果 など</p>

## 4 主要事業

事業名	重点項目	2020 予算額(千円)
静岡県舞台芸術センター関連事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 舞台芸術の創造と公演</li> <li>・ 舞台芸術に関する人材育成(中高生舞台芸術鑑賞他)</li> <li>・ 舞台芸術に関する活動の支援</li> <li>・ ふじのくに せかい演劇祭開催</li> <li>・ 舞台芸術公園管理運営</li> </ul>	305,849
ふじのくに芸術祭等開催事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふじのくに芸術祭開催</li> <li>・ 伊豆文学賞</li> </ul>	25,461
ふじのくに#エールアートプロジェクト促進事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談窓口の設置</li> <li>・ 文化芸術活動への助成</li> </ul>	60,000
グランシップ管理運営関連事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設運営経費</li> <li>・ 企画事業実施</li> <li>・ 施設修繕</li> </ul>	1,710,084
美術館運営関連事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 展覧会事業</li> <li>・ 資料・普及事業</li> <li>・ 庁舎・園地管理事業</li> <li>・ 施設修繕</li> </ul>	611,700
子どもが文化と出会う機会創出事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内プロオーケストラによる地域訪問プログラム</li> <li>・ 県内プロオーケストラによる未就学児対象コンサート</li> <li>・ SPAC 学校訪問プログラム</li> <li>・ SPAC 地域ホール等での出張公演</li> </ul>	99,000
オリンピック・パラリンピック文化プログラム推進事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化プログラム推進費</li> <li>・ アーツカウンシル設立準備</li> <li>・ 国際オペラコンクール開催費</li> </ul>	336,000
その他取組を含めた合計		3,555,235



視点1 新たな価値を生み出す 関連資料

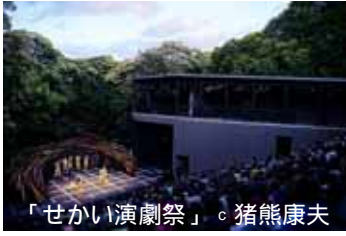

< S P A C >

S P A Cは、専用の静岡芸術劇場及び県舞台芸術公園を拠点として、舞台芸術の創作・公演活動を行い、県民に質の高い作品の鑑賞機会を提供するとともに、人材育成事業や舞台芸術活動の支援など、様々な活動を展開している。

沿革

年	内容
1994年	静岡県が「静岡県舞台芸術振興構想」を発表、鈴木忠志へ静岡県芸術文化振興顧問を委嘱。
1995年	財団法人静岡県舞台芸術センターが設立され、芸術総監督に鈴木忠志が就任。
1997年	舞台芸術公園竣工。柿落とし公演『リア王』（鈴木忠志演出）他上演。
1998年	静岡芸術劇場（グランシップ）竣工。
1999年	静岡芸術劇場柿落とし公演『ディオニュソス』『カチカチ山』（鈴木忠志演出）。
1999年	世界の舞台芸術の祭典「第2回シアター・オリンピックス」開催。
2000年	国際演劇祭「Shizuoka 春の演劇祭 2000」開催。
2007年	2代目芸術総監督として宮城聡が就任。
2011年	「Shizuoka 春の芸術祭」の名称を改め、「ふじのくにせかい演劇祭 2011」を開催。
2014年	フランス・アヴィニョン演劇祭にて『マハーバーラタ』『室内』を上演。
2017年	同アヴィニョン演劇祭にて、アジア初となる開幕公演『アンティゴネ』を上演。

事業内容

事業名	内容
創造と公演	<p>静岡県の特性を生かした世界に通用する新しい舞台芸術の創造を行い、また、本県の舞台芸術を世界に向けて発信するとともに、世界の様々な文化と交流するため、国際演劇祭「ふじのくにせかい演劇祭」等の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふじのくにせかい演劇祭」</li> <li>・県内公演（ワンコインシアター、秋 春のシーズン、「ふじのくに野外芸術フェスタ」での上演）</li> <li>・県外公演</li> <li>・海外公演</li> </ul> 
人材育成事業	<p>舞台芸術の次代を担う人材の教育と育成を行うとともに、舞台芸術のすそ野を広げることを目的とし、県内中高生を S P A C 公演へ無料招待する「中高生舞台芸術鑑賞事業」等の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ S P A C シアタースクール「親と子の演劇教室」</li> <li>・スパカンファンプロジェクト</li> <li>・異才・天才・奇才 S P A C こども大会</li> <li>・中高生舞台芸術鑑賞事業（出張公演）</li> <li>・演劇・ダンスの出張ワークショップ</li> <li>・高校演劇ワークショップ</li> </ul> 
舞台芸術活動の支援	<p>舞台芸術を通して、地域の生活文化を更に高め、芸術文化の活力を育むことを目的に、「S P A C 県民月間」事業等の地域に固有の舞台芸術活動への支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ S P A C 県民月間の実施（県民劇団提携公演型）</li> <li>・人材派遣と技術支援</li> <li>・舞台芸術に関するテキストの発行</li> </ul>

< 静岡国際オペラコンクール >

1 コンクールの概要 第4回から国際音楽コンクール世界連盟に加盟

開始年度	平成8年度（以後、3年ごとに開催）
会場	アクトシティ浜松 大ホール
審査委員	木村俊光（審査委員長）他日本人3人、外国人6人
賞	第1位～第3位、入選（3人）、三浦環特別賞 他

2 前回第8回コンクールの開催実績

- (1) 期間及び応募者 H29.11.11～11.19 22か国 191人（うち日本人67人）
- (2) 審査結果 第1位 ムン・セフン（韓国） 第2位 リ・アオ（中国）  
第3位 コ・ピョンジュン（韓国）  
三浦環特別賞 城 宏憲（日本国籍者で将来性ある出場者に授与）
- (3) 総入場者数 3,477人



第8回コンクールポスター

（静岡文化芸術大学学生がデザイン）



コンクール予選の様子

3 オペラ普及事業（コンクール未開催年に実施）

- (1) オペラ県民講座の開催  
過去のコンクール入賞者を招聘等してオペラ・ガラ・コンサートを行い、オペラの普及とコンクールの認知度向上を図る。  
東部・中部・西部で開催（参加無料）。令和元年度参加者1,264人
- (2) 高校生オペラ鑑賞教室事業  
県内オペラ団体を高校に派遣し、高校生にオペラに関心を持つ機会を提供する。  
令和元年度参加実績 5校 1,002人

4 過去コンクール入賞者の活躍

氏名	入賞回・順位	活動内容
ワシリー・ラデューク	第4回・第1位 (平成17年)	平成21年 フェニーチェ歌劇場「椿姫」ジェロモン役 平成21年 メトロポリタンオペラ「道化師」シルヴィオ役
光岡 暁恵	第5回・第1位 (平成20年)	平成22年 トッセリ歌劇場「利口な女狐の物語」ピストロウシカ役 平成24年 藤原歌劇団公演「夢遊病の女」アミーナ役
吉田 珠代 第1位該当者なし	第6回・第2位 (平成23年)	平成25年 サントリーホールオペラアカデミー20周年記念公演 「コジ・ファン・トゥッテ」フィオルディリージ役
嶋原 奈美	第7回・第1位 (平成26年)	平成28年 アクト・ニューアーティスト・シリーズ出演 平成28年 ザンドナーイ劇場「トスカ」トスカ役

<伊豆文学フェスティバル>

1 概要

開始年度	平成9年度	
部門	小説・随筆・紀行文部門（平成9年度～） 掌編部門（平成22年度～令和元年度「メッセージ部門」、令和2年度より改称）	
対象の題材	（平成20年度まで）静岡県伊豆地方の風土、地名、行事、人物、歴史等 （平成21年度から）静岡県全域を対象	
賞	小説・随筆・紀行文部門	最優秀賞 1編、優秀賞 1編、佳作 2編
	掌編部門	最優秀賞 1編、優秀賞 5編
入賞作品の発表	最優秀賞、優秀賞、佳作作品を書籍『優秀作品集』として出版	

2 令和元年度事業実績

第23回伊豆文学賞開催	募集期間	令和元5月1日～10月1日（メッセージ部門は9月17日まで）		
	応募総数	267件（小説157件、随筆39件、紀行文11件、メッセージ60件）		
	結果	小説・随筆・紀行文部門	最優秀賞 小説「ナナカマドの庭」鈴木ヤスノリ（函南町） 優秀賞 随筆「ボンネットバスと走った天城峠（乗り合いバスの変遷）」多賀多津子（福岡市早良区） 佳作 小説「坦庵先生とパン」逆瀬川わたる（兵庫県宝塚市） 小説「はぐれ雁」戸川桜良（東京都墨田区）	
		メッセージ部門	最優秀賞 「繋がらない記憶」濱中晶子（東京都練馬区）	
	審査員	小説・随筆・紀行文部門	三木卓、村松友視、嵐山光三郎、太田治子	
メッセージ部門		村松友視、諸田玲子、中村直美		
伊豆文学塾開催	開催時期・会場	沼津市内で実施予定（新型コロナウイルス感染拡大のため中止）		
	内容	表彰式同時開催、審査員の作家による文学講演、文学ツアー等		
伊豆文学ツアー	内容	駿河湾フェリーを利用して土肥・伊豆長岡を巡るコース、沼津市内の文学関連施設を巡る2コースを企画（新型コロナウイルス感染拡大のため中止）		



受賞者と審査員の記念撮影



第23回優秀作品集

3 成果

区分	内容
情報発信	全国の図書館に優秀作品集を送付し、本県の文化資源についての情報発信
	受賞作品の新聞連載を通じ魅力を紹介（第20回最優秀作品「熱海残照」（平成30年10～12月/伊豆新聞）、第23回最優秀作品「ナナカマドの庭」（令和2年夏頃予定/伊豆新聞））
人材発掘	第13回最優秀賞 土橋章宏氏：ヒット映画脚本（代表作：『超高速！参勤交代』）
	第19回最優秀賞 今村翔吾氏：第160回及び第163回直木三十五賞候補（時代小説『童の神』『じんかん』）

<ふじのくに芸術祭>

部門等	種目等	期 間	会 場	応募・出演者 (団体)数	入賞・入選数 (うち入賞数)	鑑賞(入 場)者数
美術部門	美術展・写真展 (同時開催)	11月24日(日) ～12月1日(日)	静岡県立美術館 展示室1～6 県民ギャラリー	美術 314 写真 234	美術 187 (40) 写真 60(7)	3,538
	書道展	9月27日(金)～ 10月2日(水)	クリエート浜松 ギャラリー31～ 35	605	374(26)	2,181
	優秀作品展	令和2年 1月22日(水) ～27日(月)	イシバシプラザ 4階ホール(沼津市)	78		1,151
文学部門	文芸コンクール	応募期間 6月18日(火)～ 9月5日(木)		327	103(42)	
	高校生短歌・俳句・ 川柳コンクール	応募期間 6月14日(金)～ 9月17日(火)		短歌 1,897 俳句 5,029 川柳 3,235	短歌 50(6) 俳句 50(6) 川柳 50(6)	
音楽・舞台芸術部門	合唱コンクール	12月1日(日)	グランシップ 中ホール	440 (25)	5(5)	700
	演劇コンクール	6月1日(土)～ 12月8日(日)	県内各会場	141 (8)	4 (4)	2,434
	舞踊公演	11月4日 (月・祝)	静岡清水文化会 館 マリナート大ホ ール	86		718
	邦楽演奏会	10月27日(日)	グランシップ 中ホール	98 (11)		314
化生活 部門	水石展	9月13日(金)～ 15日(日)	藤枝市文化セン ター	74		424
芸術祭普及事業	春の祭典 【2019 総合開会式】	平成31年 2月17日(日)	グランシップ 中ホール	35		221
	学生アート フェスティバル	12月18日(水) ～22日(日)	静岡県立美術館 県民ギャラリー	199		521
	学生アートフェスティ バルギャラリーート ーク	12月22日(日)	静岡県立美術館 県民ギャラリー	18		
合計				12,810 人		12,202 人

< 障害者芸術振興 >

1 背景

- (1) 県：「静岡県障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例（平成 29 年条例第 17 号）」の施行
  - ・ 障害者が文化芸術活動に参加できる機会を確保、障害者でない者も参加し、相互理解を促進
- (2) 国：「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律（平成 30 年法律第 47 号）」第 7 条に基づき、
  - 「障害者による文化芸術活動の推進に関する基本的な計画（文科省・厚労省）」を策定(H31. 3)
  - ・ 文化芸術活動を通じた障害者の個性と能力の発揮及び社会参加を促進
- (3) 東京 2020 オリンピック・パラリンピックへの動き（H26～R 元）
  - ・ H26「障害者芸術活動支援センター」を国が設置（全国 5 箇所） H30 全国展開（本県設置）

2 事業概要

(1) 発表の場の創出 障害者芸術祭の開催

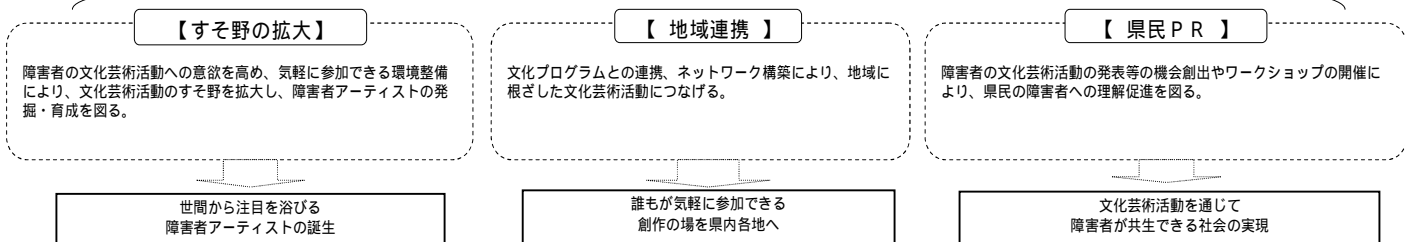
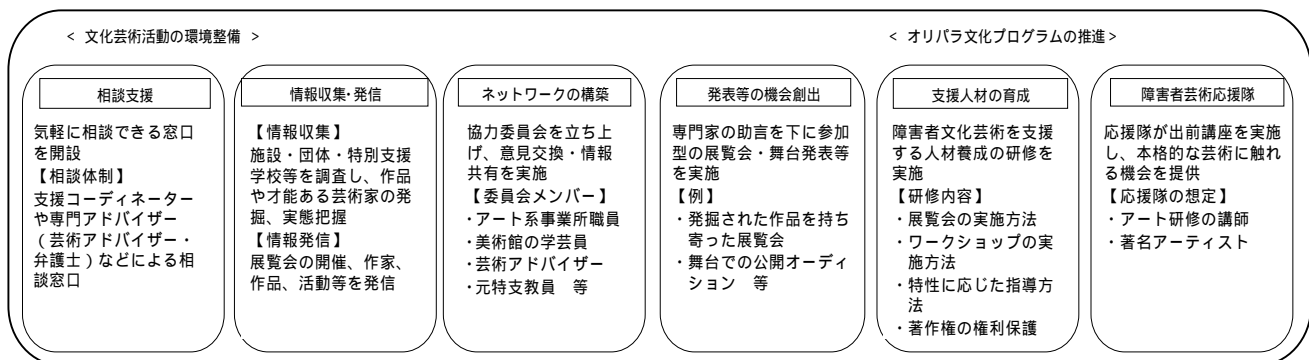
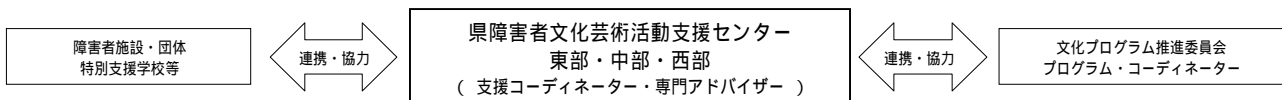
平成 30 年度から、全国障害者芸術祭のサテライト事業として拡大開催

シンボルイベント 障害のある人の舞台発表の場（県内 1 か所で開催）

作品展示イベント 障害のある人の芸術作品の展示（東部・中部・西部で開催）



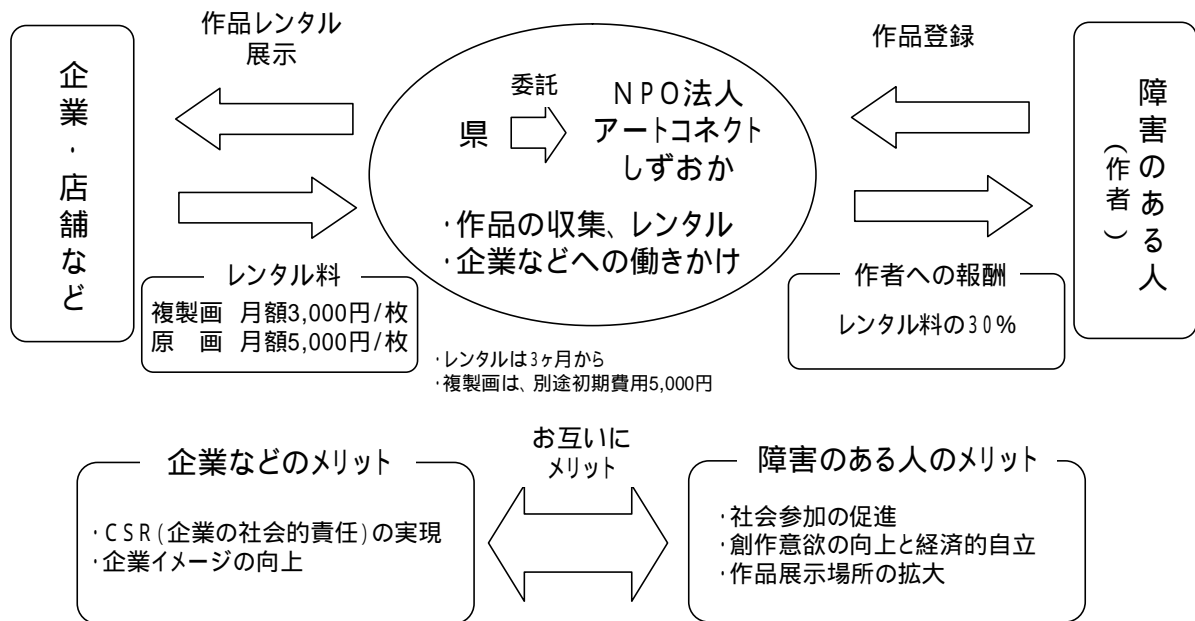
(2) 支援拠点 県障害者文化芸術活動支援センター「みらーと」の設置（平成 30 年 9 月）



(3) まちじゅうアートの推進（令和元年度から）

障害のある人が制作した美術作品を企業・店舗等に有償で貸し出し、レンタル料の一部を作者に還元するモデル事業に取り組むことで、障害のある人の文化芸術活動への理解促進や障害のある人の社会参加、創作意欲の向上、経済的な自立を促進。

令和元年度貸出実績（11月～） 8社 36点



募集チラシ



協賛企業に贈呈する記念盾

(4) 県庁障害者アート空間化（令和元年度から）

県が障害のある人の作品を有償で借り、まちじゅうアートのモデルとして県庁内に展示し、作品と事業をPR。

令和元年度貸出実績（11月～） 13点

< 伝統芸能の振興 >

地域伝統芸能全国大会の開催

1 目的

本県及び全国各地の地域に伝わるお祭りを一堂に集め、舞台上で披露することにより、伝統芸能等の素晴らしさを伝えるとともに、観光情報の提供や県内の食文化の紹介、伝統工芸品などの魅力を伝える。

2 事業概要

区分	内容												
開催期日	令和2年11月28日(土)、29日(日)2日間												
開催場所	静岡市内(メイン会場：静岡市民文化会館、サブ会場：駿府城公園)												
主催者	静岡県、静岡市及び(一財)地域伝統芸能活用センター												
出演団体	<p>県内、県外及び海外団体 25 団体 (約 500 人)</p> <p>&lt; 県内外出演団体の概要 &gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>主な出演予定団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>神楽</td> <td>沼田の湯立神楽 ほか 3 団体</td> </tr> <tr> <td>祭囃子</td> <td>三島囃子 ほか 2 団体</td> </tr> <tr> <td>盆踊</td> <td>徳山の盆踊 ほか 1 団体</td> </tr> <tr> <td>田遊び・田楽</td> <td>藤森の田遊び ほか 2 団体</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>横尾歌舞伎 ほか 12 団体</td> </tr> </tbody> </table>	種別	主な出演予定団体	神楽	沼田の湯立神楽 ほか 3 団体	祭囃子	三島囃子 ほか 2 団体	盆踊	徳山の盆踊 ほか 1 団体	田遊び・田楽	藤森の田遊び ほか 2 団体	その他	横尾歌舞伎 ほか 12 団体
種別	主な出演予定団体												
神楽	沼田の湯立神楽 ほか 3 団体												
祭囃子	三島囃子 ほか 2 団体												
盆踊	徳山の盆踊 ほか 1 団体												
田遊び・田楽	藤森の田遊び ほか 2 団体												
その他	横尾歌舞伎 ほか 12 団体												
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各出演団体が、メイン会場及びサブ会場の舞台上で神楽、祭囃子、盆踊等を披露</li> <li>伝統文化の体験コーナー、飲食ブース、物販、観光情報の提供 等</li> </ul> <p>新しい生活様式に基づき、新型コロナウイルス感染症対策を講じた会場運営を行う。</p>												



(H31 年度なら・かしはら大会 左：メイン会場、右：サブ会場)

ふじのくに伝統芸能フェスティバル

1 目的

県内の様々な伝統芸能を知る機会とするとともに、団体の今後の伝承について考える機会とする。

2 事業概要

- ・公益財団法人静岡県文化財団・グランシップと静岡県文化プログラム推進委員会が、「静岡県文化プログラム県域プログラム」として実施
- ・フェスティバルは、2020年東京大会に向けた文化プログラムとして、2019～2020年の間に3回シリーズで開催予定

区分	内容
公演名	ふじのくに伝統芸能フェスティバル ～地域とともに、大人からこどもたちへ～
日時等	令和元年9月22日(日) 14:00～16:00 関連事業として、8月23日に「伝統芸能こどもサミット」開催 (参加74人)
会場	グランシップ 中ホール・大地
内容	【第1部】 静岡県立駿河総合高等学校 和太鼓部(実演) 笹間神楽保存会/神楽「三宝太刀の舞」(実演) 笹間地区の紹介 獅子舞かんからまち保存会/演舞「道行」(実演) 遠州横須賀三社祭礼囃子保存会/演舞「般若」(実演)/掛川市の紹介 【第2部】 伊豆地域の三番叟について/橋本敬之 「伝統芸能こどもサミット」実施報告 装束付舞囃子『三輪』/観世流能楽師・長谷川晴彦 富士宮囃子保存会紹介 静岡県立駿河総合高等学校 和太鼓部(実演)
来場者	812人

3 成果

- ・多彩な芸能とそれに携わる人々、その継承方法を紹介することができた。
- ・それぞれの芸能が持つ背景や地域の魅力を知ってもらうことができた。
- ・継承される側である子どもが主体となったサミットを開催したことで、若い世代が主体的に地域の未来を考えるきっかけとなった。



<ふじのくに#エールアートプロジェクト>

1 要 旨

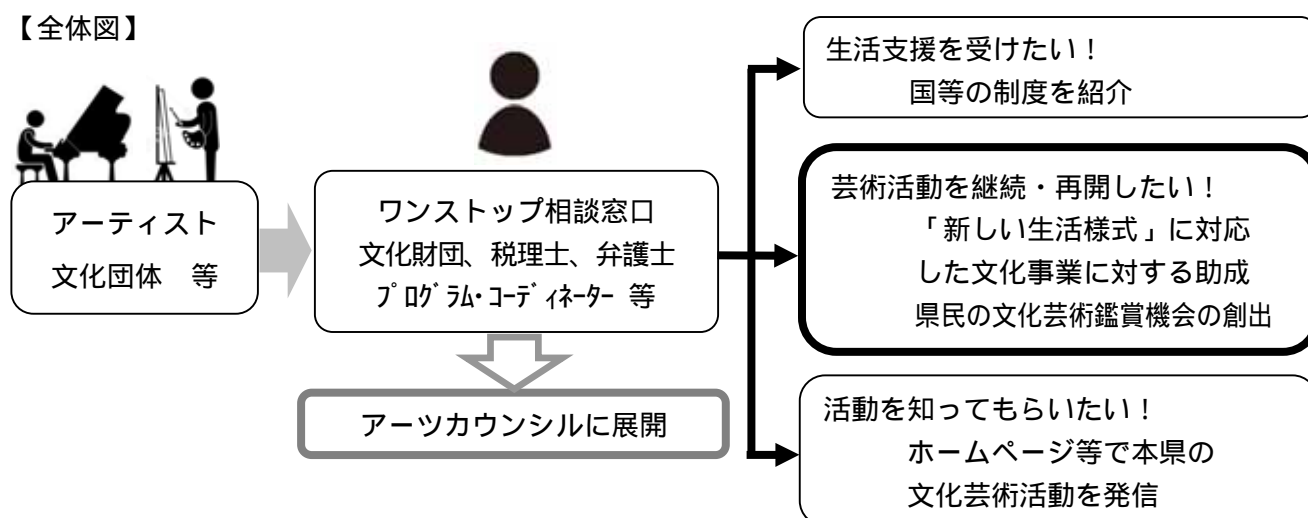
新型コロナウイルス感染症拡大に伴うイベントの中止要請等に基づき活動を自粛し、経済的に困窮している県内アーティスト等に対し、ワンストップ相談窓口を設置するとともに、「新しい生活様式」に対応した文化芸術活動の実施に要する経費を支援することで、県民に安心して楽しめる文化芸術活動の鑑賞機会を提供する。

2 概 要

(単位：千円)

区分	内 容	事業費	備 考
ワンストップ相談窓口	相談窓口開設：メール・電話等 <対応者> ・弁護士、税理士、社労士、中小企業診断士 ・文化芸術活動の専門家	5,000	期間 ：R2.7～R3.3
	事務局経費	5,000	対応件数(見込み) ：3,600件
助成制度	「新しい生活様式」に対応した文化芸術活動の実施に要する経費を支援 <対象者> <u>県内のプロのアーティスト等</u> <対象となる活動> ・R2年度中に実施する展覧会、公演事業等 ・R2年度中に制作する動画作品の配信 <助成額> <u>上限100万円</u> <件数> <u>50件程度</u>	50,000	対象者要件、提案内容を審査の上で採択
計		60,000	

【全体図】



視点2 豊かな感性を育む 関連資料

< 県立美術館・ふじのくに地球環境史ミュージアムの事業実績 >

県立美術館

(1) 展覧会等実績 (令和元年度)

区分	展覧会名	期間	観覧者数実績
企画展	屏風爛漫展	4/2~5/6 (32日間)	12,216
	古代アンデス文明展	5/18~7/15 (51日間)	55,474
	熊谷守一展	8/2~9/23 (47日間)	16,358
	古代への情熱展	10/2~11/17 (40日間)	7,202
	やなぎみわ展	12/10~2/24 (64日間)	8,032
ふじのくに芸術祭		11/24~12/1(7日間)	3,538
収蔵品展		年間	10,542
観覧者数合計			113,362
移動美術展	裾野市民文化センター	11/12~12/1 (19日間)	2,183

(2) 教育普及事業 (主なもの) (令和元年度)

プログラム	内容	実施日等	
講義系	講演会・美術講座	美術史等の専門家等による講演	6回
	美術講座	学芸員等による企画展鑑賞講座	7回
	フロアレクチャー	学芸員による展示室内での鑑賞案内	32回
	ギャラリーツアー	観覧者を対象とした、ボランティアによる作品解説	年24回
体験系	創作週間	実技室とその設備を創作活動のため県民に開放する	年49日
	わくわくアトリエ	親子で参加できる美術体験企画として立体・彫刻や絵画を取り上げ、様々な技法で共同制作を行うワークショップ	年4日
	えのぐ開放日	親子で参加し、絵の具で自由に遊ぶ体験の日	年8回
	ねんど開放日	親子で参加し、粘土で自由に遊ぶ体験の日	年27回
	ロダン館デッサン会	ロダン彫刻作品のデッサン	年21日
美術館教室 (学校連携普及事業)	・来館児童、生徒を対象とした実技・鑑賞のプログラム	美術館教室 実技プログラム 年100回以上	
	・出張美術講座 学芸課職員が交代で各学校に赴き美術講座等を実施		



(移動美術展 裾野市)



(移動展ワークショップ 下田市)

ふじのくに地球環境史ミュージアム

(1) 観覧者数実績

年度	開館日数 (日)	観覧者数(人)		移動ミュージアムを含む 年間観覧者数(人)	備 考
		年間	開館からの累計		
H27	5	5,809	5,809	515,388	H28年3月26日開館
H28	309	80,854	86,663	704,165	
H29	308	68,466	155,129	944,613	
H30	311	79,676	234,805	585,522	
R元	309	78,118	312,923	721,716	コロナウイルス感染症の影響で2月以降来館者数減

(2) 展覧会等実績(令和元年度)

テーマ	会期(開催日数)	観覧者数(人)	備考
大絶滅	11/30～4/5 (105)	15,676	有料企画展
ミュージアムキャラバン展	4/6～5/26 (45)	6,893	
伊豆半島 驚異の環境	6/15～8/25 (63)	11,391	
第2回ふじミュウ写真展	9/7～11/4 (51)	5,861	写真コンテスト開催 (応募総数423点)
<その他の展示> 常設展にあわせ、コレクション展、ホットピックギャラリー、ミドルヤード展示などの特別展示を通年展示。			

(3) 教育普及実績(R1) H27.6開始以降、移動ミュージアムの累計観覧者数は、3,158,481人

区 分		開催数	観覧者数
移動ミュージアム	ミュージアムキャラバン	43か所	353,972
	ミニ博物館	16か所	289,626
館内講座・イベント		434回	23,737

移動ミュージアム

東西に広い静岡県において、多くの県民が博物館活動に接する機会を享受できるよう展開するアウトリーチ活動。

ミュージアムキャラバン

「昆虫の世界」、「化石の世界」、「魚の世界」、「植物の世界」の4種類のユニットを用いて、小中学校、公共施設を巡回展示する。

ミニ博物館

標本や写真パネル等を用いて公共施設等を巡回展示する。



(ミュージアムキャラバン 静岡駅北口)

< グランシップの取組みと「ふじのくに文化振興基本計画」の関係 >

・累計来館者数(H11.3~) 14,888,893人、企画事業本数累計 395本(H17~指定管理制度導入以降の累計)

	重点施策	グランシップの主な取組み	成果等
豊かな感性を育む文化振興	1 子どもが文化と出会う機会の充実	自主企画事業 【子ども・子育て世代向け】 ・子どものうちから「上質で多彩な」文化芸術の素晴らしさを体験できるような公演を展開 (トインフェスタ、グランシップ こどものくに ほか)	R元：6本(入場参加者数 46,068人)  現指定管理期間中(H29~)の累計 20本(入場参加者数 159,199人)
	2 多様な価値観を表現し、尊重する環境づくり	自主企画事業 【ワークショップ・アウトリーチ】 ・普段文化施設に来られない、生の文化芸術に触れる機会が少ない地域等での公演実施 (世界子ども劇場、人形浄瑠璃出前講座 ほか)	R元：20本(入場参加者数 35,359人)  現指定管理期間中(H29~)の累計 45本(入場参加者数 81,496人)
新たな価値を生み出す文化振興	3 創造活動の実現と環境づくり	自主企画事業 【県民参加型】 ・県民がステージに立つ場の提供 (音楽の広場、誰もが Wonderful アート ほか)	R元：14本(入場参加者数 62,657人)  現指定管理期間中(H29~)の累計 47本(入場参加者数 236,312人)
	4 文化資源の発掘と創造活動による地域の魅力向上	県内の文化資源の存在や価値を再発見し後世に伝承するための書籍の発行 (R元発行書名) 「徳川将軍と富士山」 「清水港～これまで・今・これから～」	R元：発行部数 2,000部
人・社会・世代をつなぐ体制づくり	5 地域・社会の様々な課題への文化力の活用 文化「が」ささえる	自主企画事業 【文化プログラム認証プログラム】 ・オリンピック憲章に定められた「文化の祭典」を盛り上げると同時に、文化芸術と他分野との協働により、地域や社会の課題に対応	R元認証件数 ・東京2020参画プログラム 21件 ・静岡県文化プログラム 64件
	6 文化の支援機能の強化 文化「を」ささえる	ふじのくに文化情報センターの運営 自主企画事業を活用した人材育成 (公立文化施設職員、登録アーティスト、インターンシップ) 貸館事業 文化関係団体助成	R元：相談件数 54件 R元：延べ 379人  稼働率5ヵ年平均 82.1% R元：23団体 5,994千円

<ふじのくに子ども芸術大学>

1 目的

「ふじのくに芸術回廊」の実現に向けた取組として、県文化振興基本計画における重点施策「子どもが本物の文化に触れる機会の充実」に基づき、第一線で活躍するアーティスト等との交流を通じ、優れた文化芸術に出会い身近に親しむ機会を提供するため、県内の小・中学生を対象とした個人参加の体験・創造講座を実施する。

2 概要

区分	内 容
対 象	県内在住在学の小・中学生
時 期	7月～11月
内 容	美術、音楽等様々な分野のワークショップを開催
講 師	様々な分野の第一線で活躍するアーティストやクリエイター、伝統芸能継承者 等
特別講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会が企画・実施</li> <li>・三枝成彰学長が中心となって調整、各界一流のアーティスト等を講師として招聘</li> </ul> <招聘した講師> 三枝成彰（作曲家）、横山幸雄（ピアニスト）、仲道郁代（ピアニスト）、三ツ橋敬子（指揮者）、わたせせいぞう（イラストレーター）、日比野克彦（現代アート）、ひびのこづえ（コスチューム・アート）、増田順一（ゲームディレクター）、安珠（写真家）、奥田瑛二（俳優）、林真理子（作家）、大石静（脚本家）、隈研吾（建築家）、鎧塚俊彦（パティシエ）、岡副真吾（日本料理） 等
公募型講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の文化活動団体や市町から募集し、実行委員会が選定</li> <li>・経費のうち、講師料等を負担（1講座あたり上限30万円）</li> </ul> <公募型講座の実施内容> 演劇、ダンス、パントマイム、映画制作、版画、手漉き和紙、海藻アート、イラスト、陶芸、ファブリック（布）アート、現代アート、詩、絵本制作、動画制作、歴史探索、自然とアート、詩吟、囃子、日本舞踊、能、等

3 参加者の満足度


特別講座

年 度	参加者数	回答者数	興味・関心	理解のしやすさ	時間
令和元年度	360人	304人	92.1%	88.2%	60.9%
平成30年度	381人	356人	95.8%	93.0%	58.1%
平成29年度	454人	423人	94.3%	91.7%	49.4%

公募型講座

年 度	参加者数	回答者数	興味・関心	理解のしやすさ	時間
令和元年度	485人	408人	92.6%	55.6%	61.8%
平成30年度	400人	388人	95.6%	53.1%	67.8%
平成29年度	592人	449人	90.9%	48.6%	57.5%

<中高生舞台芸術鑑賞事業（SPAC）>

区	内 容						
SPAC	<p>1 内 容 県内中高生を対象に、平日に学校・学年単位で無料公演を行う。</p> <p>2 演 目 『イナバとナバホの白兔』、『寿歌』、『ペール・ギュントたち～わくらばの夢～』、『RITA&amp;RICO（リタとリコ）～「セチュアンの善人」より～』、『グリム童話～少女と悪魔と風車小屋～』、『メナム河の日本人』</p> <p>3 開催期間 令和元年6月～令和2年2月</p> <p>4 会 場 静岡芸術劇場</p> <p>5 補助制度 ・ 中学は学校から劇場までの往復バス代をSPACが全額負担 ・ 高校は学校から劇場までの往復バス代をSPACが半額補助(上限4万円)</p> <p>6 実績（平成21年度～令和元年度実績のべ数）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">公演数</th> <th style="text-align: center;">学校数</th> <th style="text-align: center;">鑑賞者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">628回</td> <td style="text-align: center;">973校</td> <td style="text-align: center;">170,108人</td> </tr> </tbody> </table> <p>7 参加者の声 ・ 演劇は演技と演出が組み合わさってできる総合美術なのだと思います。舞台の上 に一つの世界があるように感じた。（生徒） ・ 感性が豊かになるだけでなく、普段見学する（触れる）ことのできない職業 に触れることができたと思う。（教員）</p> <div style="text-align: center;">  <p>（中高生鑑賞事業前説の様子）</p> </div>	公演数	学校数	鑑賞者数	628回	973校	170,108人
公演数	学校数	鑑賞者数					
628回	973校	170,108人					

<子どもが文化と出会う機会創出事業（オーケストラ）>

1 事業目的

将来にわたり持続的に静岡県内における芸術文化を振興し裾野を拡大していくため、子どもの頃から多様な文化に出会い、体験する機会の拡大を図る。

事業実施に当たっては、県内各地で音楽プログラムやコンサートを実施することで、芸術に触れる機会の地域格差を是正するほか、将来の鑑賞者や音楽文化を支える人材の育成を目指す。

2 令和元年度実施内容

(1) 実施期間：令和元年6月1日（土）～令和2年3月13日（金）

(2) 対象地域：全市町（政令市の小・中学校はへき地校のみ）

区分	委託先	対象	実施内容
地域訪問プログラム	(公財) 静岡県 文化財団	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	小学校、中学校、高等学校等を訪問して行う音楽プログラムの実施 (実施内容) 音楽鑑賞に加え、 ・鑑賞講座、指揮者体験、演奏体験 ・部活動指導、合同演奏 ・地域住民への鑑賞機会の提供 等
未就学児コンサート		小学校入学前の乳幼児と保護者等	未就学児とその保護者等を対象としたコンサートの実施

3 実施主体、プログラムの決定方法

委託先は、次の条件を満たす団体を実施主体・プログラムを公募し、選定する。

実施主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内に主たる事務所を置くプロフェッショナル・オーケストラ</li> <li>・年間3回以上の定期演奏会等を開催</li> <li>・構成員は、職業演奏家が概ね30名以上</li> </ul>
地域訪問プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏形態は、オーケストラ又は室内楽</li> <li>・プログラムの実施時間は、学校等の授業時間を考慮し、1時限～2時限（45分～100分）を目安</li> <li>・県内全ての学校等で実施可能な内容</li> <li>・鑑賞に加え、児童・生徒が音楽を体験できる機会を設ける</li> </ul>
未就学児コンサート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏形態は、オーケストラ又は室内楽</li> <li>・コンサートの実施時間は、60分～90分を目安</li> </ul>

4 令和元年度実績

実施主体	実施内容	回数(回)	鑑賞者数(人)	開催地区
【音楽】 静岡交響楽団 浜松フィルハーモニー管弦楽団 シフォニエッタ静岡	地域訪問プログラム	40 (51校)	11,941	熱海市(2)、伊豆市、三島市、沼津市(3)、富士市(3)、富士宮市(4)、焼津市、島田市(5)、牧之原市、川根本町(3)、掛川市(8)、浜松市(2)、湖西市(4)、下田市、河津町
	未就学児対象コンサート	10	3,660	伊豆の国市、御殿場市、富士市、富士宮市、藤枝市、御前崎市、浜松市(4)
計		50	15,601	

【アンケート結果】

(地域訪問プログラム)

プログラムの実施内容について

区分	回答(%)
1 とてもよい	75.3
2 よい	22.3
3 普通	1.2
4 あまりよくない	0
5 よくない	0
無記入	1.2
計	100.0

次年度の開催希望について

区分	回答(%)
1 とてもよい	92.8
2 よい	4.8
無記入	2.4
計	100.0

参加者の声

- ・説明と共に順を追って曲や楽器を紹介してくれたので、わかりやすく良かった。
- ・初めてのオーケストラの生演奏に感動した。
- ・オーケストラの演奏を聴きに足を運ぶきっかけになる。
- ・「オーケストラに入りたい」「楽器をやりたい」という子が何人もいた。
- ・いつも暗い表情の子が目を輝かせて聴いていた。

(未就学児コンサート)

プログラムの実施内容について

区分	回答(%)
1 とてもよい	88.9
2 よい	11.1
3 普通	0
4 あまりよくない	0
5 よくない	0
無記入	0
計	100.0

次年度の開催希望について

区分	回答(%)
1 とてもよい	100.0
2 よい	0
無記入	0
計	100.0



参加者の声

- ・小さな子と一緒に楽しむことができるオーケストラは初めてだった。
- ・マナーを事前に伝えた事で、子ども達がそれを実践していた。
- ・一曲が短く、クラシック、子ども向けの曲などジャンルも豊かで、楽器の種類も多くプログラムの内容はメリハリがあり、子ども達が楽しんで音楽を聴くことができるよう工夫されていた。





< 子どもが文化と出会う機会創出事業（演劇） >

区分	内容						
<p>学校訪問プログラム</p>	<p>1 対象 県内小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、放課後児童クラブ等</p> <p>2 内容                      (1) 演劇ワークショップ 演劇の手法を用いたゲーム等により、生徒の「伝えるチカラ」を育む。                      (2) ダンスワークショップ コンテンポラリーダンスの手法を用いて身体表現の多様性を学ぶ。                      (3) 出前劇場 世界の名作から、対象学年にあわせた作品をプロの俳優により上演。                      (4) 高校国語戯曲化授業 『水の東西』を戯曲化した教材を使い、生徒が戯曲を読む体験をする。</p> <p>3 実績</p> <table border="1" data-bbox="400 770 1342 909"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>参加者数</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年8月 ～令和2年2月</td> <td>2,137人</td> <td>県立浜名湖北高校佐久間分校、天城放課後児童クラブほか23施設</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 アンケート結果                      ・実施後のアンケートでは、「とてもよい」、「よい」と回答した人は全体の87%を占めた。                      ・その理由として、「はじめての体験だった」が27%、「内容がおもしろかった」が23%となった。</p> <p>(参加者の声)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつもと違った運動で楽しかった。</li> <li>・音楽に合わせて体を動かすのが好きになった。</li> <li>・最初は恥ずかしかったが、気が付くと思いきり楽しんでいた。</li> </ul>  <p>『どんぐりとやまねこ』 ©平尾正志</p>	実施日	参加者数	会場	令和元年8月 ～令和2年2月	2,137人	県立浜名湖北高校佐久間分校、天城放課後児童クラブほか23施設
実施日	参加者数	会場					
令和元年8月 ～令和2年2月	2,137人	県立浜名湖北高校佐久間分校、天城放課後児童クラブほか23施設					
<p>出張公演</p>	<p>1 対象 県内中学校、高等学校、特別支援学校等</p> <p>2 内容 地域の公共ホール等での演劇出張公演を実施。                      &lt; 演目：『走れメロス袋井編』、『寿歌』、『RITA&amp;RICO(リタとリコ)～「セチユアンの善人より～』、『グリム童話～少女と悪魔と風車小屋～』 &gt;</p> <p>3 実績</p> <table border="1" data-bbox="400 1624 1342 1776"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>参加者数</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年9月 ～令和2年2月</td> <td>8公演 1,951人</td> <td>袋井市月見の里学遊館、浜松市天竜壬生ホール、掛川市文化会館シオーネ、下田市民文化会館</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 アンケート結果                      実施後のアンケートでは、「とてもよい」、「よい」と回答した人は全体の約90%を占めた。</p> <p>(参加者の声)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・劇の意味は言葉にできないが、心が揺さぶられた。</li> <li>・生音楽と役者の動きが合っているところがすごく、伝わってくるものがあつた。</li> <li>・音楽の臨場感や踊りが工夫されていて面白かつた。他の作品も見てみたい。</li> </ul>  <p>『走れメロス』(袋井) ©平尾正志</p>	実施日	参加者数	会場	令和元年9月 ～令和2年2月	8公演 1,951人	袋井市月見の里学遊館、浜松市天竜壬生ホール、掛川市文化会館シオーネ、下田市民文化会館
実施日	参加者数	会場					
令和元年9月 ～令和2年2月	8公演 1,951人	袋井市月見の里学遊館、浜松市天竜壬生ホール、掛川市文化会館シオーネ、下田市民文化会館					

< 新型コロナウイルス感染症影響下における S P A C の取組 >

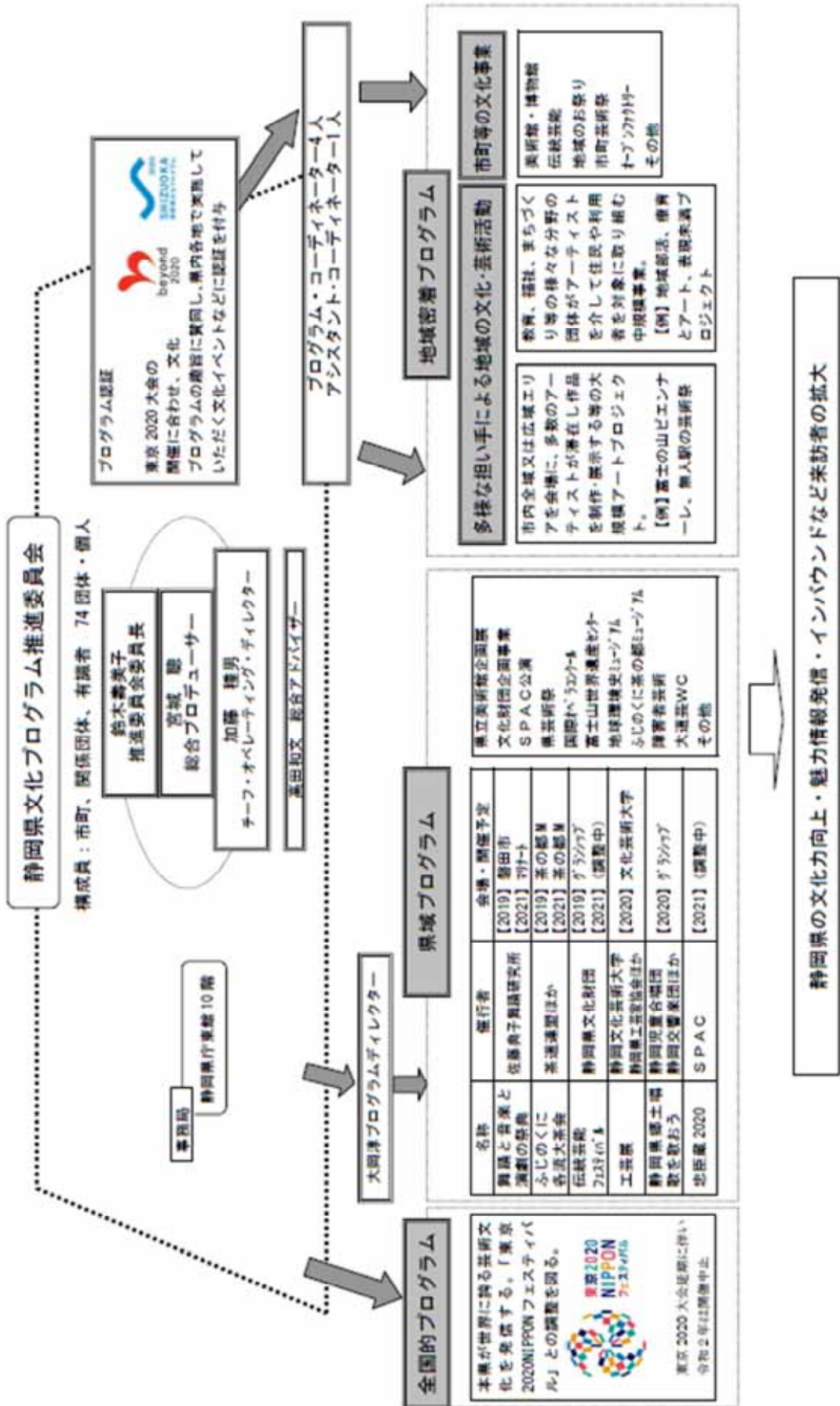
SPAC では、新型コロナウイルス感染症の影響下でも、様々な手法により演劇の活力を届ける取組を展開している。

事業名	内容
くものうえ↓ せかい演劇祭	<p>開催期間：令和2年4月25日（土）～5月6日（水・休）</p> <p>開催内容：新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった「ふじのくにせかい演劇祭2020」の趣旨に沿った映像配信やトーク企画等を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上演予定だった舞台作品等の映像配信。</li> <li>・海外演出家と宮城監督によるクラウド上での対談の配信。</li> <li>・俳優らがZoom上で稽古する様子の配信。</li> <li>・スタッフや俳優による企画動画の配信。ほか</li> </ul> <p>視聴回数：56,088回</p> 
でんわde 名作劇場	<p>開催期間：令和2年6月6日（土）～8月31日（月）</p> <p>開催内容：俳優が依頼者の自宅に電話を掛け、リクエストに応じ文学作品や戯曲の一部を朗読。朗読と合わせて30分以内であれば、俳優との会話も可能。</p> <p>（作品例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『吾輩は猫である』夏目漱石作</li> <li>・『源氏物語』紫式部作 / 与謝野晶子訳</li> <li>・『走れメロス』太宰治作 ほか</li> </ul> <p>実施件数：162件（7月21日時点）</p> 
教科書朗読動 画	<p>開催期間：令和2年6月8日（月）～</p> <p>開催内容：俳優が県内の小・中・高校で使用されている国語の教科書を朗読する動画をYouTubeで無料配信。動画はオーソドックスな語りから、身体パフォーマンスや映像表現を組み込んだものまで多種多数。</p> <p>（作品例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『こころ』『坊ちゃん』夏目漱石</li> <li>・『蜘蛛の糸』『鼻』芥川龍之介</li> <li>・『竹取物語』『枕草子』『平家物語』ほか</li> </ul> <p>視聴回数：14,787件（7月22日時点）</p> 
S P A C 出張 ラヂヲ局	<p>開催期間：令和2年7月2日（木）～8月31日（月）</p> <p>開催内容：高齢者福祉施設や児童福祉施設等の屋外にて、トークや楽器の生演奏を交えた俳優による朗読を実施し、観客は施設内からラジオを使って視聴する試み。</p> <p>実施件数：6件（7月21日時点）</p> 
S P A C アー トおとどけ工 房	<p>開催期間：令和2年6月15日（月）～8月31日（月）</p> <p>開催内容：廃材や植物を使った簡単な工作レシピ等の提供や、県内の学校や児童館などの施設に舞台作家たちが製作したアート展示を提供。</p> <p>申込件数：18件（7月21日時点）</p> 

視点3 東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした文化芸術創造活動の推進 関連資料

< 静岡県文化プログラム実施体制 >

静岡県文化プログラム実施体制



< 静岡県文化プログラムの展開 >

静岡県文化プログラムの展開		令和2年度	令和3年度
静岡県文化プログラム 2020フェスティバル “フンプロ・フェス”			
全国的プログラム			(7/23) 2020東京大会開催 (9/9)
県域プログラム		◎工芸展(10/9～25)◎先端技術展(12/10～23) 郷土唱歌(3/21)◎ 舞踊と音楽と演劇の祭典(5/23)◎ 大茶会(6/10～13)◎ 【調整中】◎伝統芸能F 【調整中】◎忠臣蔵2020	認証プログラムの終了 文化プログラム推進委員会の解散
地域密着プログラム	団体のプログラム	地域伝統芸能全国大会(11/28、29)◎ ●原泉アートデイズ!(10/15～11/15) ●富士の山ピエンナーレ(10/24～11/23)	(アーツカウンシルへ継承)
プログラム実施時期の考え方	市町のプログラム		
実施組織	静岡県文化プログラム推進委員会(～令和3年夏) (事務局:事務職員6人、プログラム・コーディネーター5人) ※プログラムの実施を通じた人材育成・ノウハウの蓄積		
		新型コロナウイルス感染症の収束状況を見ながら 「新しい生活様式」に基づきプログラムを再編成	アーツカウンシル(令和3年1月～)

< 静岡県文化プログラムの実施時期 >

東京 2020 オリンピック・パラリンピックが終了する令和 3 年 9 月まで文化プログラムの実施期間を延長する予定

区分		令和元年度	令和 2 年度
全国的プログラム SPAC「アンティゴネ」			駿府城公園（5.2～5.5） 延期、R3 実施調整中
県 域 プ ロ グ ラ ム	舞踊と音楽と演劇の祭典	磐田市民文化会館 大ホール(9.23) 実績：1,300 人	グランシップ中ホール (7.26) 延期、R3 実施調整中
	ふじのくに各流大茶会	茶の都ミュージアム (9.25～9.29、5 日間) 実績：3,084 席	茶の都ミュージアム (7.29～8.2、5 日間) 延期、R3 実施調整中
	ふじのくに 伝統芸能フェスティバル	グランシップ中ホール(9.22) 実績：812 人	富士宮市文化会館ほか (5.31) 延期、R3 実施調整中
	工芸展及び先端技術展		文化芸術大学ギャラリー (10.9～10.25、12.10～12.23)
	静岡県郷土唱歌を歌おう	グランシップ大ホール (3.29)【延期】	グランシップ大ホール (3.21)
	県民参加創作演劇		グランシップ大ホール (8.16) 延期、R3 実施調整中
地域密着プログラム		公募・採択した 26 件は、延期・縮小・内容変更等を実施	

視点4 これからの文化振興 関連資料

< 地域密着プログラムを支援する専門家 >

<p>北本 麻理（プログラム・コーディネーター）</p> <p>京都造形芸術大学舞台芸術研究センターでの公演制作を経て、舞鶴市文化事業団アートコーディネーターとして、ワークショップや舞台作品を企画・運営。ジャパン・コンテンツポラリーダンス・ネットワークで、復興事業『三陸国際芸術祭』『習いに行くぜ!東北へ!』のプログラム・ディレクターを務めた。</p>
<p>鈴木 一郎太（プログラム・コーディネーター）</p> <p>平成9年渡英。アーティストとして活動後、平成19年に帰国。NPO法人クリエイティブサポートレッツにて、社会の多分野と連携する様々な文化事業の企画を担当。平成25年、建築家の大東翼とともに（株）大と小とレフを設立。主にプロジェクト企画、マネジメントを担当。</p>
<p>佐野 直哉（プログラム・コーディネーター）</p> <p>オルガン奏者として英国留学後、ビクターエンタテインメント、駐日英国大使館やブリティッシュ・カウンシル勤務を通じて、国家ブランディング関連の広報文化キャンペーンを担当。上野学園大学音楽学部准教授、青山学院大学総合文化政策学部非常勤講師。</p>
<p>門脇 幸（プログラム・コーディネーター）</p> <p>高知県出身：14歳で単身上京。ミュージカル「アニー」にてデビュー。フリーでの俳優を経て劇団四季へ。退団後、タレントスクールを設立、後進の指導にあたる。2019年10月に一般社団法人日本市民ミュージカル協会設立、代表理事を務める。</p>
<p>立石 沙織（アシスタント・コーディネーター）</p> <p>静岡文化芸術大学でアートマネジメントを専攻。ギャラリー勤務などを経て、2011年「黄金町バザール2011（横浜市）」コーディネーター。2014年よりNPO法人黄金町エリアマネジメントセンターにて広報、2019年よりマネージャーを務める。</p>

< 地域密着プログラム支援の主なねらいと事例 >

地域資源や身近な課題等を可視化し、資源活用や課題解決の糸口を見出す  
社会福祉法人ひかりの園（浜松市根洗学園）

- ・ 子どもの絵を基に母親が弁当を作る「おべんとう画用紙プロジェクト」  
 親子のコミュニケーション促進、展示による療育現場への理解促進
- ・ 俳優達が施設に滞在し、療育現場の日常を演じた映像を制作  
 俳優の演技により職員の療育技術が可視化され、職員のモチベーションが向上



地域アイデンティティの再構築による誇りの醸成や、関係人口の増加に寄与する。  
富士の山ビエンナーレ、無人駅の芸術祭、かけがわ茶エンナーレ、原泉アートデイズ

- ・ アーティストが地域に長期滞在し、住民の協力を得ながら作品を制作・展示  
 作品を通じた地域資源の可視化、住民・アーティスト等の交流、地域の魅力発信



アートやアーティストと身近に接することにより、活動の輪が広がり地域が活性化する。  
スケイル・ラボラトリー、熱海怪獣映画祭、熱海未来音楽祭、Meets by Arts@ATAMI

- ・ 県東部を拠点に活動するスケイル・ラボラトリーの企画「妄想相談所」では、住民が実現したいことを語り合う場を創出  
 熱海への移住者による映画祭、熱海出身・在住アーティストによる音楽祭など、地域に根差した新たな企画の立上げを後押し



< 地域密着プログラム採択団体（2020年度） >

実施団体	主な拠点	プログラム名称	プログラムの概要
特定非営利活動法人ACT.JT静岡支部	伊東市	ふじのくに大田楽 - ODORIKO プロジェクト 2020 -	伊豆地域の伝統芸能団体が「大田楽」を披露するとともに、自転車競技を盛り上げるための自転車パレードを創作
Usami フェス実行委員会	伊東市	Usami フェス 2020 in とまた浜辺公園	毎年開催の海辺イベントでのアート展示に地元在住の芸術家を招致し、本格的な屋外作品を子どもたちに見せ将来につなぐ機会を創出
松崎町のうたを育てる会	松崎町	松崎町のうたを歌おう会	2017年度から3年間取り組んだ「松崎町のうた」づくりの次のステージとして、アーティストによるコンサート、歌詞集・リズム体操の作成、全町民合唱等
KURURA 制作実行委員会	伊豆市	子どもローカルマガジンプロジェクト	「デザインの手で地域を元気に」を目指し子どもとデザイナーが制作する地域情報誌を軸に、「2020 COLOMAGA こどもサミット」を開催
一般社団法人熱海怪獣映画祭	熱海市	第3回 熱海怪獣映画祭	怪獣映画とゆかりのある熱海で開催している映画祭。「怪獣の聖地 熱海」のブランド化に向け、今年3回目を開催
Meets by Arts @ ATAMI 実行委員会	熱海市	Meets by Arts 2020	地域に根付いた文化事業を実施する人材を育成するためのアートスクールを開催。受講生のトライアル機会となるよう小規模市民芸術祭を実施
熱海未来音楽祭	熱海市	第2回 熱海未来音楽祭	熱海出身・在住のアーティストが中心となり、熱海の街を舞台にコンサートやパフォーマンス、ワークショップ等を実施
しゃぎりフェスティバル実行委員会	三島市	第4回しゃぎりフェスティバル	三島の伝統芸能「しゃぎり」の持続的発展に向け、フェスティバルを中心とした各種活動を実施
Cliff Edge Project	三島市	Cliff Edge Project 躍動する山河	伊豆半島の地質遺産、災害史を題材に、現代アートやパフォーマンス等で表現する展覧会の開催。ジオを活用したアートを発信
こころのまま	沼津市	エイブルアートによるノーマライズな地域づくり推進事業	オリパラの開催に合わせ、東部地域の3支部ごとに、絵画・書・造形など、一つの大きな共同作品を制作し、ノーマライズな地域づくりを推進
Scale Laboratory	函南町	「未来にわたすあなたと私の物語」プロジェクト	気軽に芸術文化に親しみアーティストと関わる環境づくりを目的に、特定の拠点を持たず様々な団体と連携し、パフォーマンスアーツ中心の事業を展開
富士の山ピエンナーレ実行委員会	富士市、富士宮市、静岡市	するがのくにの芸術祭 富士の山ピエンナーレ	富士市、静岡市、富士宮市の3市を跨ぐ地域芸術祭で今回が4回目。「全国路地サミット2020 in 富士」も誘致
静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター	静岡市	七間町ハプニング5	七間町を舞台としたパフォーマンスアーツ・フェスティバル。外国籍の市民が参加や、鳥獣被害をテーマにしたプロジェクトなど多彩な企画を展開



実施団体	主な拠点	プログラム名称	プログラムの概要
焼市	焼津市	港まち文化プロジェクト～焼津流おもてなしを世界へ～	港まち焼津が繋いできた大漁旗や魚河岸文化を、モノづくりを通じて海とともに次世代に継承
藤枝宿世代をつなぐ商店街づくり実行委員会	藤枝市	1964年にタイムスリップ! 記憶をめぐる藤枝宿商店街活性化劇場	1964年東京五輪当時の商店街を題材とした演劇作品を同商店街や公園内で上演し、地域の歴史を知ることによって商店街に愛着を感じる機会を創出
企業組合くれば	島田市	WABISA VILLAGE SASAMA - ささま音風景プロジェクト -	アーティストからの要望等を踏まえ、「ささまのアート」確立に向けて、音風景プロジェクトを展開。地元の食や器作品とのコラボレーションも実施
KAWANE 夏祭り @ BIGNATURE 実行委員会	島田市	KAWANE 夏祭り @ BIGNATURE	地域活性化のため若手住民が担い手となり、20回目を迎えるコンサート。世代交代のタイミングで裏方の活動を映像化し、川根の魅力として発信
特定非営利活動法人クロスメディアしまだ	島田市、川根本町	UNMANNED 無人駅の芸術祭/大井川 2020	大井川鉄道の無人駅を核に、アーティストと住民との交流を密にしながら作品を制作・発表する地域芸術祭
川根本町伝統文化保存会	川根本町	伝統文化交流会	平成31年3月の「伝統文化伝承館～時愛～」建設を契機に、伝統文化団体が保存会を結成し、後継者育成や観光資源化に取り組む
劇団静岡県史	菊川市	県民参加演劇公演『静岡茶 航海記』	牧之原開拓など茶産業の歴史をベースに舞台創作し、公募による県民参加演劇公演を実施
一般社団法人ふじのくに文教創造ネットワーク	掛川市	地域部活・掛川未来創造部 Palette～	複数の中学校の生徒が集まり、音楽、演劇、ダンスを中心に、アーティストを講師に迎え行う文化系部活動。2020年5月、新NPO設立予定
原泉アートプロジェクト	掛川市	原泉アートデイズ! 2020	掛川市最北部の中山間地に位置する原泉地区で地域住民の協力を得て実施するアーティスト・イン・レジデンス、現代アート展
かけがわ茶エンナーレ実行委員会	掛川市	かけがわ茶エンナーレ 2020	3年に1度開催する「茶」と「アート」を融合させた芸術祭。地域資源の可能性を広げ価値を高めることで、観光・産業・シティプロモーションにつなぐ
ふじのくにラボ	森町	ふじのくにラボ	舞楽祭事の食事を調査し再現することにより、若者や海外へ留学する学生等に地域の食文化を周知するとともに、現代風アレンジなどを通じ継承に貢献
社会福祉法人ひかりの園(浜松市根洗学園)	浜松市	子育て×療育×アーティスト×わたしの関わり	アーティスト・イン・レジデンスにより保育現場の技に焦点を当てた映像制作や、柔軟な子育て環境を各家庭につくることを目的としたワークショップ等を実施
認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ	浜松市	表現未満、プロジェクト	2016年度からスタートしたプロジェクトを、国内外の有識者等の参画を得て企画・実施・検証。福祉×文化・芸術の先駆的取組を世界に発信